

# 契約図面

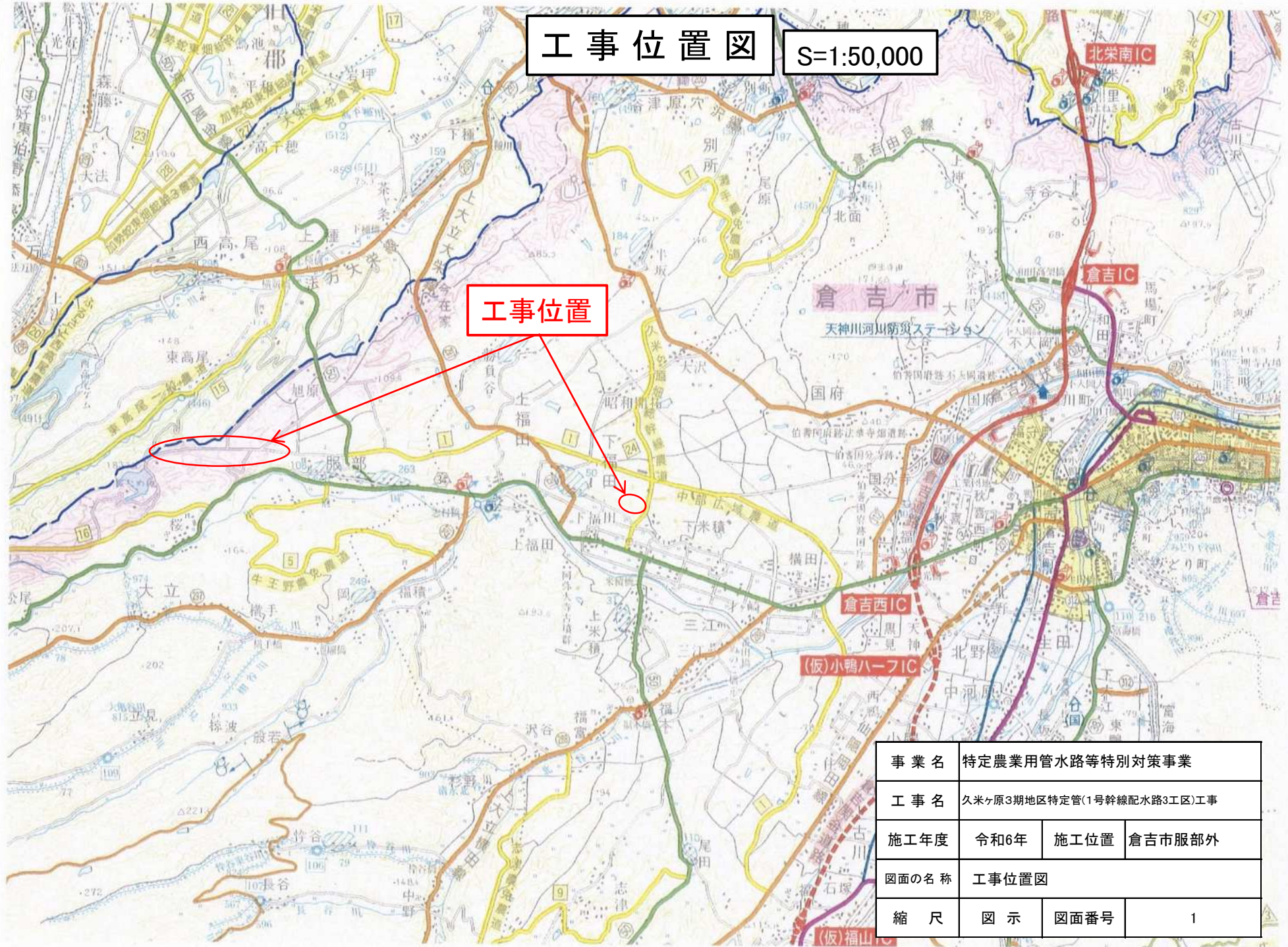
久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区) 工事

図面番号	図面の名称	枚数	備考
1	工事位置図	1	
2	全体平面図	2	
3	服部除塵機廻り配管平面図	1	
4	1号幹線配水路平面縦断面図	2	
5	1号支線配水路平面縦断面図	1	
6	埋設管標準断面図	3	
7	制水弁工構造図	1	
8	空気弁工構造図	1	
9	1号幹線配水路撤去復旧図	1	
10	1号支線配水路撤去復旧図	1	
11	8ブロック管路-2撤去復旧図	1	
12	1号幹線配水路管割図	1	参考図
13	1号支線配水路管割図	1	参考図
合計		17	

# 工事位置図

S=1:50,000

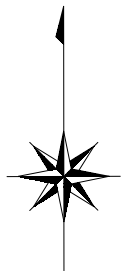
工事位置



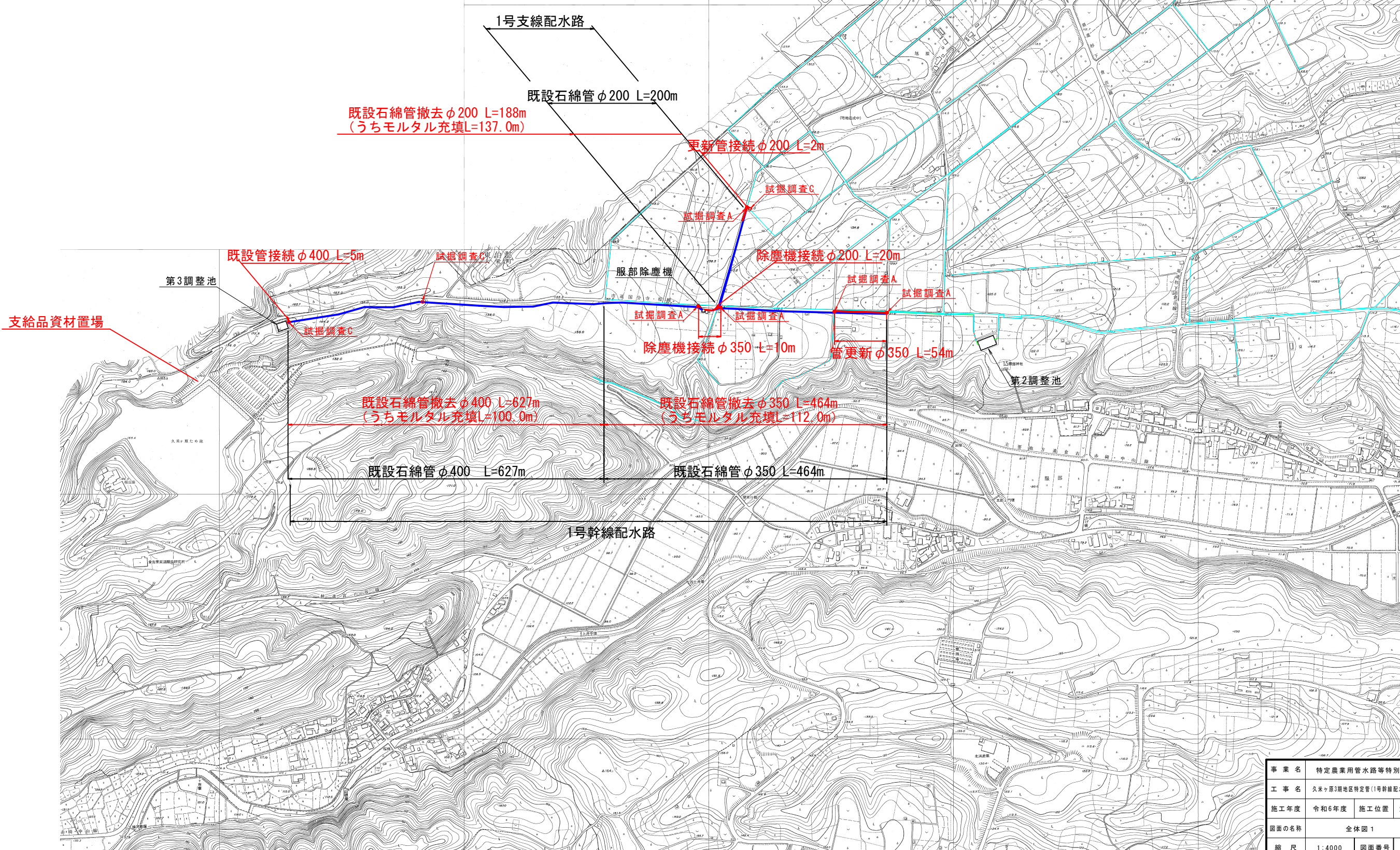
事業名	特定農業用水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年	施工位置	倉吉市服部外
図面の名称	工事位置図		
縮尺	図示	図面番号	1

久米ヶ原3期地区  
全体平面図

S=1:4,000 (A3版 1:8,000)



既設管の延長は既存資料より、更新管の延長は  
本業務測量成果を基にした設計延長を記載している。  
既存資料は実測によるものではないため、  
既設管と更新管との延長は相違がある。

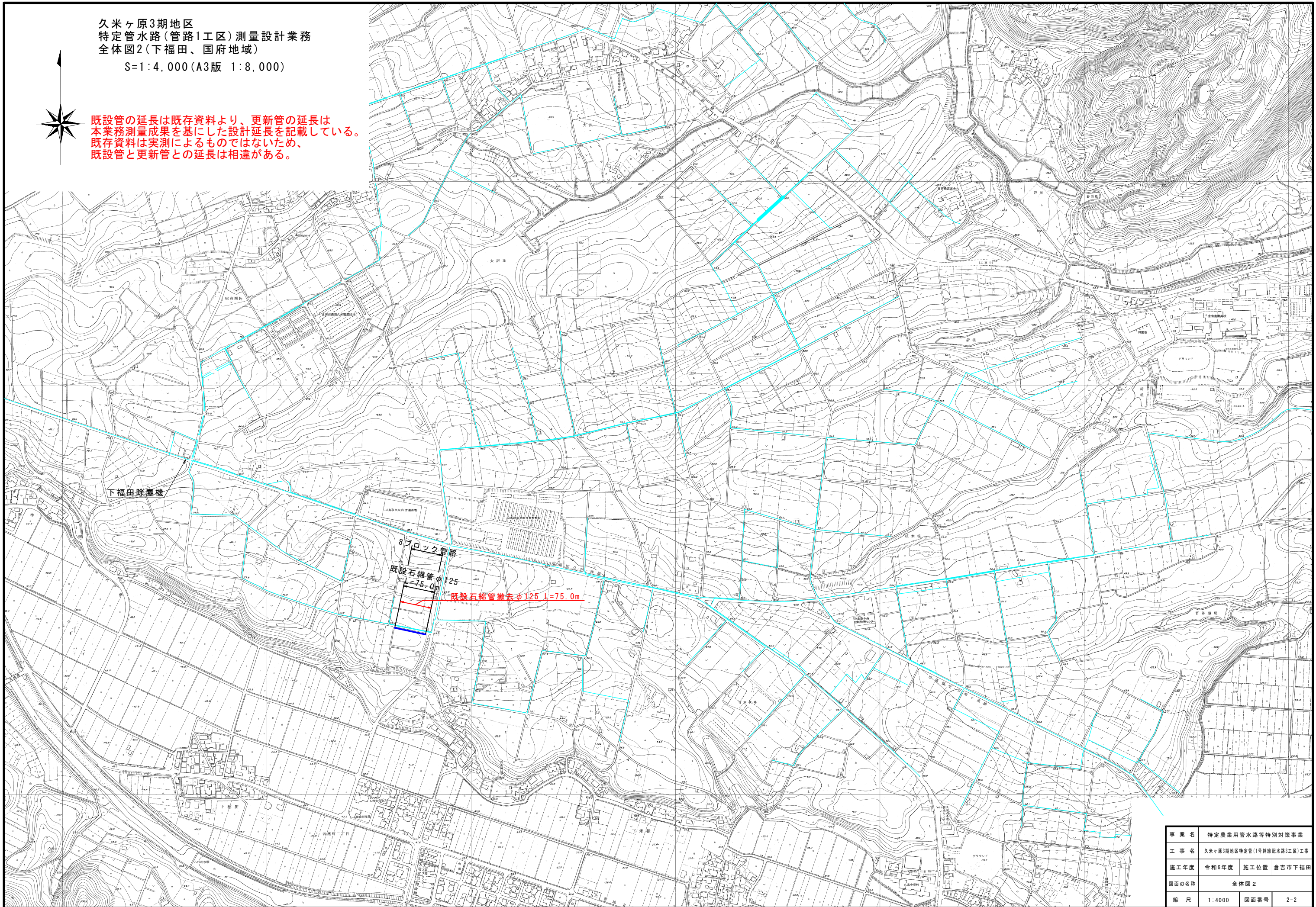


事業名	特定農業用管路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	全体図 1		
縮尺	1:4000	図面番号	2-1

久米ヶ原3期地区  
 特定管水路(管路1工区)測量設計業務  
 全体図2(下福田、国府地域)  
 S=1:4,000(A3版 1:8,000)



既設管の延長は既存資料より、更新管の延長は  
 本業務測量成果を基にした設計延長を記載している。  
 既存資料は実測によるものではないため、  
 既設管と更新管との延長は相違がある。



下福田除塵機

8ブロック管路

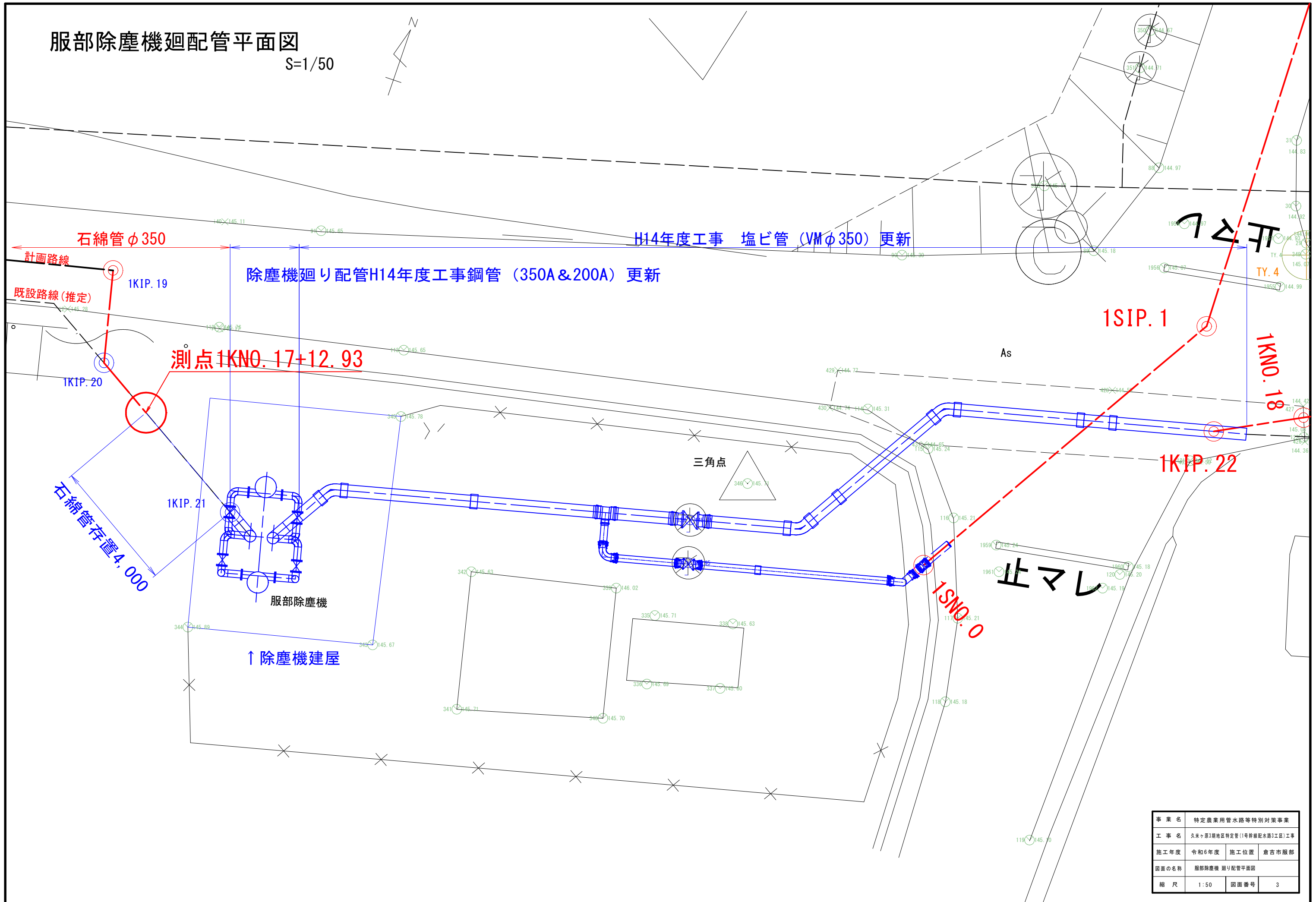
既設石綿管φ125 L=75.0m

既設石綿管撤去φ125 L=75.0m

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市下福田
図面の名称	全体図2		
縮尺	1:4000	図面番号	2-2

# 服部除塵機廻配管平面図

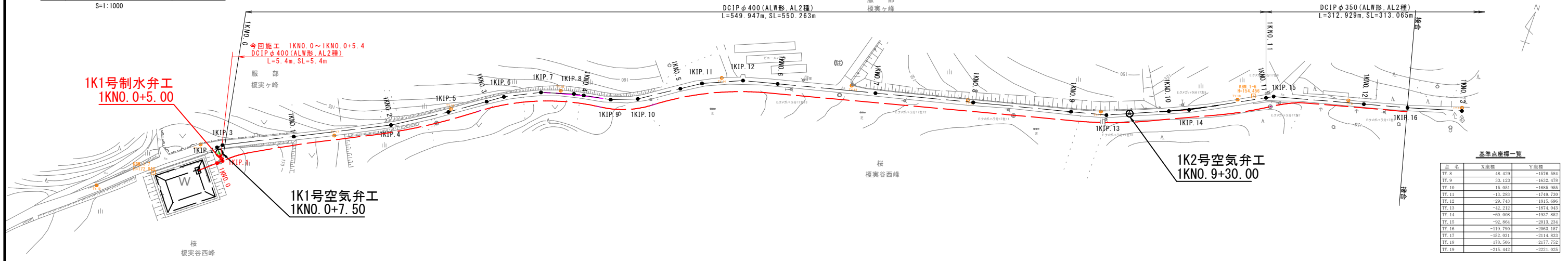
S=1/50



事業名	特定農業用管路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	服部除塵機廻り配管平面図		
縮尺	1:50	図面番号	3

1号幹線配水路平面縦断面図(1/2)

S=1:1000

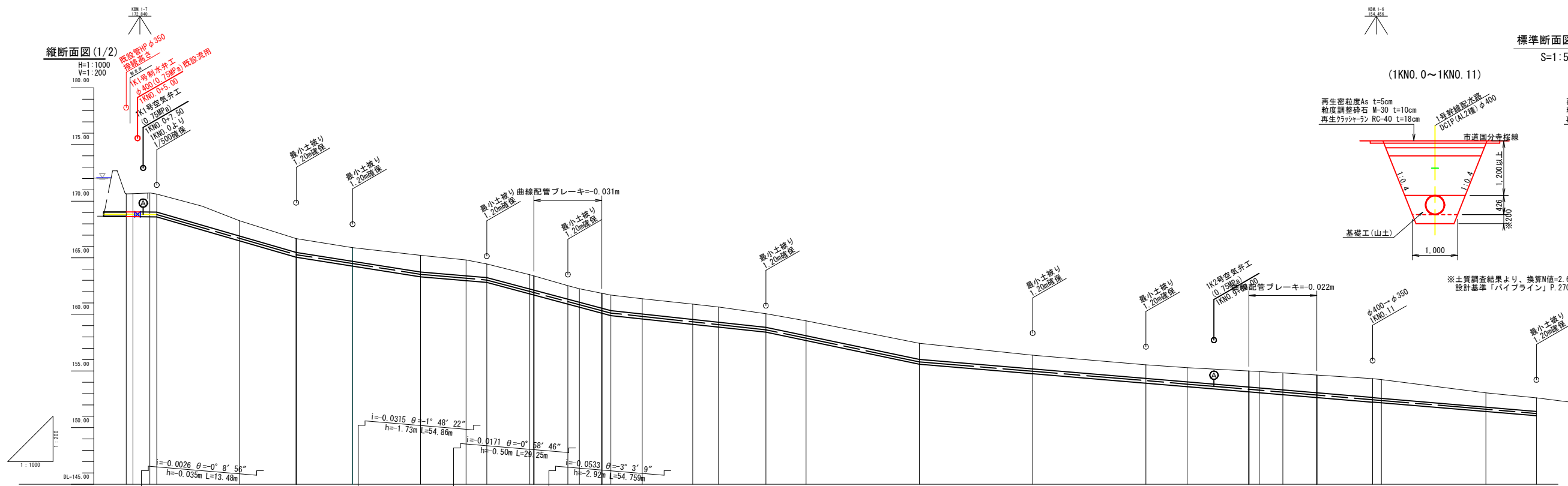


基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標
TY. 8	48.429	-1076.584
TY. 9	33.123	-1632.479
TY. 10	15.051	-1685.955
TY. 11	-13.283	-1749.730
TY. 12	-29.143	-1815.496
TY. 13	-42.212	-1874.043
TY. 14	-60.008	-1937.852
TY. 15	-72.964	-2013.231
TY. 16	-119.790	-2063.151
TY. 17	-152.031	-2114.833
TY. 18	-176.506	-2177.752
TY. 19	-215.442	-2221.025

縦断面図(1/2)

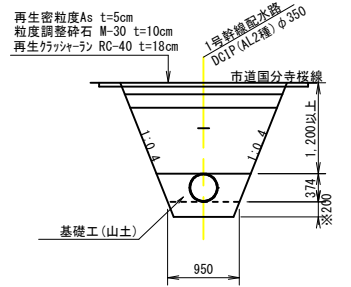
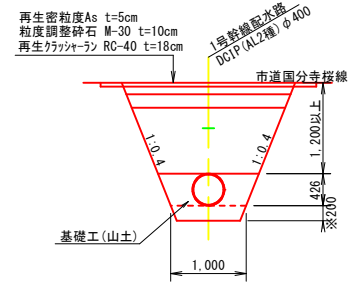
H=1:1000  
V=1:200



標準断面図  
S=1:50

(1KNO. 0~1KNO. 11)

(1KNO. 11~1KNO. 17+12.93)



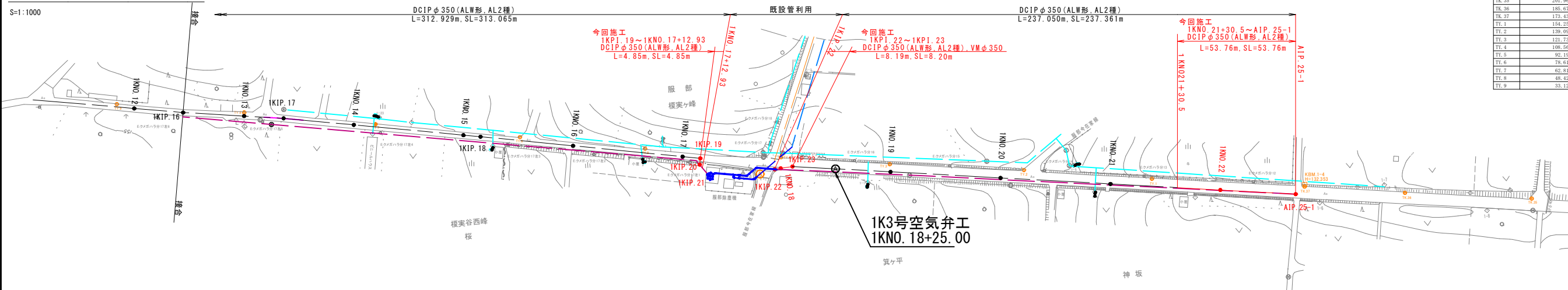
※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため、設計基準「ハイライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

勾配	188.845	188.810	185.260	183.500	183.030	180.110	183.640	185.810	183.830	181.240																			
工種	DCIP φ 400 (ALW形, AL2種) L=549.947m, SL=550.263m										DCIP φ 350 (ALW形, AL2種) L=312.929m, SL=313.065m																		
土被り	1.59	1.61	1.60	1.35	1.21	1.20	1.21	1.27	1.27	1.32	1.38	1.35	1.35	1.36	1.21	1.20	1.26	1.41	1.56	1.66	1.67	1.28	1.20						
管中心高	168.845	168.657	168.810	166.703	165.260	164.474	163.030	162.015	161.921	160.323	160.110	159.813	159.334	159.090	158.640	157.889	154.972	154.134	153.830	153.373	152.869	152.455	152.389	151.615	151.240				
地盤高	170.64	170.66	170.62	168.27	166.68	165.260	164.80	163.59	163.40	161.86	161.70	161.38	160.90	160.66	160.06	159.43	156.39	155.55	155.30	154.95	154.83	154.64	154.33	154.25	153.08	152.63			
追加距離	0.00	3.00	10.48	13.48	50.00	75.00	99.91	100.00	178.15	179.915	184.91	200.00	209.872	213.00	227.71	250.00	282.26	300.00	350.00	400.00	450.00	468.17	495.361	500.00	550.00	553.91	600.00	622.29	
単距離	0.00	7.48	3.00	36.52	25.00	24.91	0.09	29.86	20.14	9.11	19.04	1.765	16.76	5.09	29.957	3.997	13.81	22.29	50.00	50.00	18.17	27.191	31.83	10.37	29.996	24.621	3.91	46.09	22.29
測点	IKNO.0 IKIP.1	IKIP.2 IKIP.3	IKIP.3	IKNO.1	IKNO.1 +25.00	IKIP.4 IKNO.2	IKIP.5	IKNO.3 IKIP.6	IKIP.7 IKIP.8	IKIP.8 IKNO.4	IKIP.9 IKIP.10	IKIP.10 IKNO.5	IKIP.11	IKIP.12	IKNO.6	IKIP.13	IKNO.9 IKIP.14	IKIP.14 IKNO.10	IKIP.15	IKNO.11 IKIP.16	IKIP.16	IKIP.16	IKIP.15	IKIP.15	IKIP.16	IKIP.16	IKIP.16	IKIP.16	IKIP.16
曲線	IKIP.1 IA=90-00-55	IKIP.2 IA=90-00-03	IKIP.3 IA=15-00-08	IKIP.4 IA=6-00-06	IKIP.5 IA=2-29-50	IKIP.6 IA=8-30-13	IKIP.7 IA=9-20-54	IKIP.8 IA=6-21-45	IKIP.9 IA=9-20-54	IKIP.10 IA=10-27-49	IKIP.11 IA=9-29-38	IKIP.12 IA=9-29-36	IKIP.13 IA=9-02-31	IKIP.14 IA=18-47	IKIP.15 IA=13-43-22	IKIP.16 IA=1-30-56													

事業名	特定農業用配水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号幹線配水路平面縦断面図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	4-1

1号幹線配水路平面縦断面図(2/2)

S=1:1000

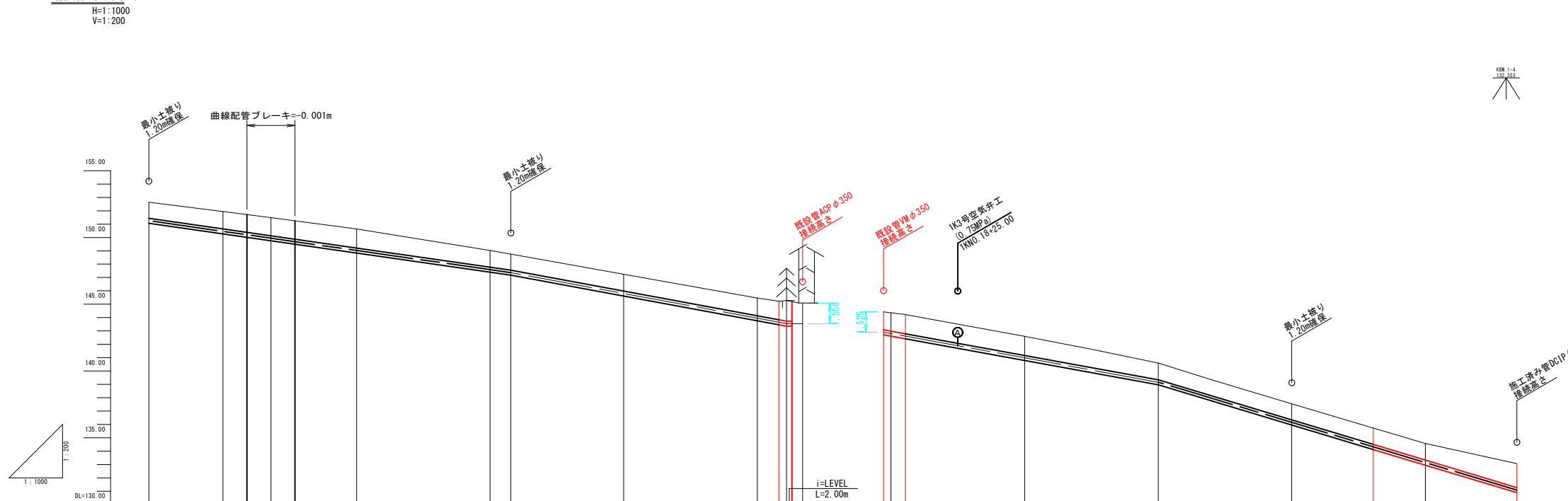


基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標
TK.25	201,961	-1011,342
TK.26	185,675	-1066,302
TK.27	173,438	-1110,378
TK.1	154,257	-1177,083
TK.2	139,097	-1231,296
TK.3	121,731	-1291,779
TK.4	108,569	-1339,501
TK.5	92,196	-1399,100
TK.6	78,619	-1454,585
TK.7	62,915	-1518,474
TK.8	48,429	-1578,584
TK.9	33,123	-1632,478

縦断面図(2/2)

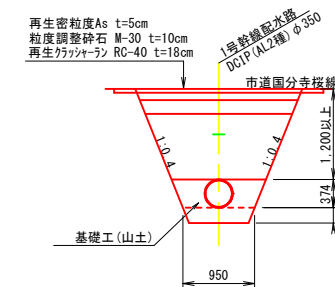
H=1:1000  
V=1:200



標準断面図

S=1:50

(1KNO. 11~1KNO. 17+12.93)  
(1KIP. 22~AIP. 25-1)



※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質土盤が確認されたため、設計基準「ハイライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

勾配	151.240		147.360		143.544		142.905		139.160		131.085							
	$i=0.0286 \theta=1^{\circ}38'24''$ $h=3.88m L=135.509m$		$i=0.0370 \theta=2^{\circ}7'9''$ $h=3.816m L=103.13m$		$i=0.0364 \theta=2^{\circ}5'12''$ $h=3.745m L=102.79m$		$i=0.0601 \theta=3^{\circ}26'31''$ $h=8.075m L=134.26m$											
工種	DCIP φ 350 (ALW形, AL2種) L=312.929m, SL=313.065m				除塵機廻り配管接続				DCIP φ 350 (ALW形, AL2種) L=237.050m, SL=237.361m									
土被り	1.20	1.31	1.33	1.38	1.44	1.25	1.20	1.26	1.33	1.38	1.35	1.43	1.43	1.25	1.20	1.25	1.81	
管中心高	151.240	150.447	150.189	149.674	149.015	148.583	147.360	145.799	144.948	143.649	142.803	142.607	140.982	139.160	136.153	133.146	131.085	
地盤高	152.63	151.94	151.71	151.48	150.64	149.02	148.75	147.25	145.46	143.28	142.36	142.22	142.60	140.60	137.54	134.58	133.08	
追加距離	622.29	650.00	659.001	668.00	700.00	750.00	757.80	800.00	850.00	858.08	860.93	862.93	866.93	905.40	1000.00	1050.00	1134.26	
単距離	22.29	27.71	9.001	(18.00)	23.005	50.00	7.80	42.20	50.00	8.08	2.85	2.00	4.00	30.28	50.00	50.00	34.26	
測点	1KIP.16	1KNO.13	1KNO.13 +9.001	1KIP.17	1KNO.13 +26.995	1KNO.14	1KIP.18	1KNO.16	1KNO.17	1KIP.19	1KIP.20	1KNO.17 +12.93	1KIP.21	1KIP.22	1KNO.19	+30.5	1KNO.22	AIP.25-1
曲線	1KIP.16 IA=1-30-55		1KIP.17 IA=2-03-41 R=500.102m SL=0.081m		1KIP.18 IA=0-16-23		1KIP.19 IA=0-00-18		1KIP.20 IA=4-05-05		1KIP.21 IA=4-04-13		1KIP.22 IA=11-54-56					

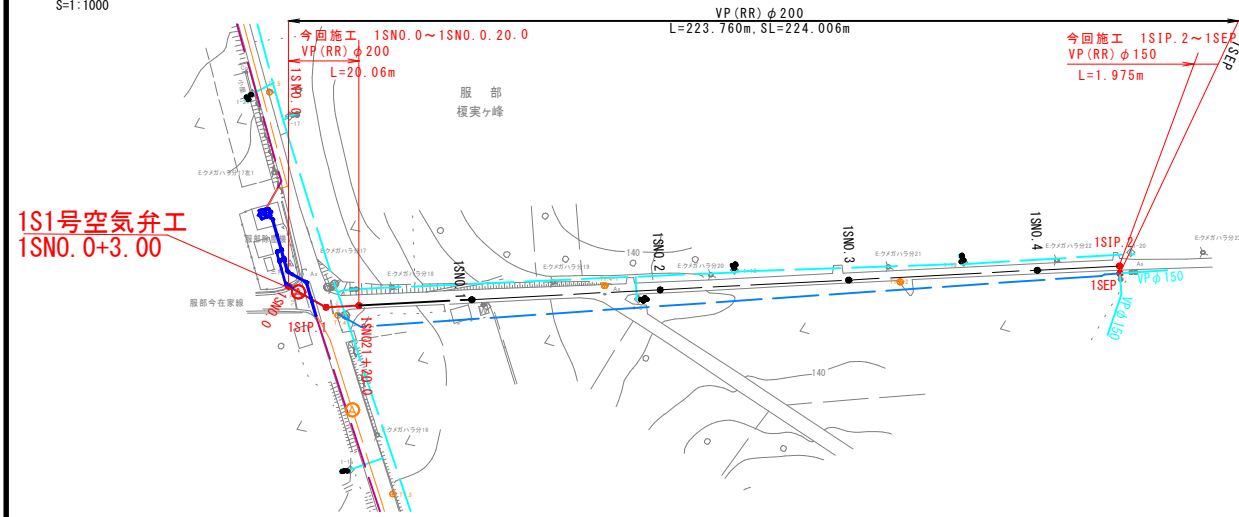
ブレーキ=-0.001m

事業名	特定農業用配水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市農部
図面の名称	1号幹線配水路平面縦断面図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	4-2



1号支線配水路平面縦断面図

S=1:1000

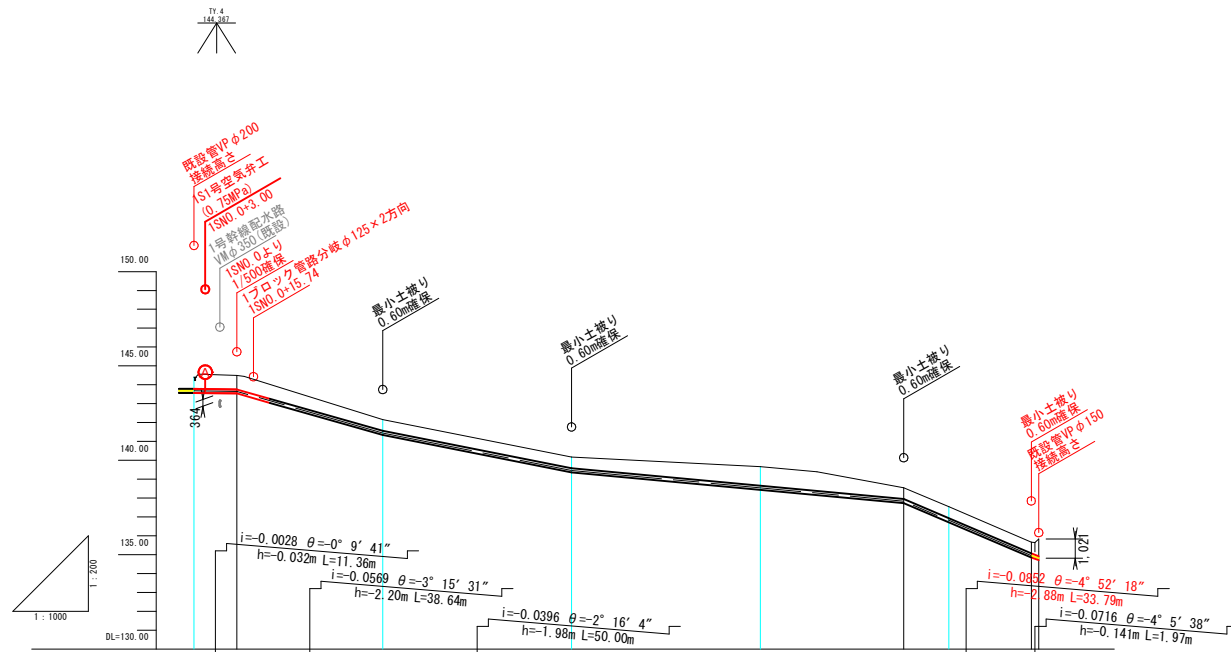


基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標
TL.3	121.734	-1391.379
TL.4	168.569	-1339.501
TL.5	92.196	-1399.100
TL.4-1	179.411	-1345.299
TL.4-2	257.764	-1344.010

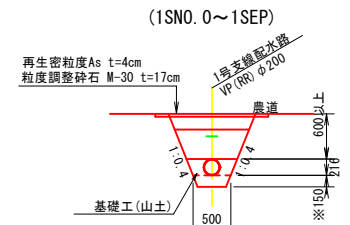
縦断面図

H=1:1000  
V=1:200



標準断面図

S=1:50



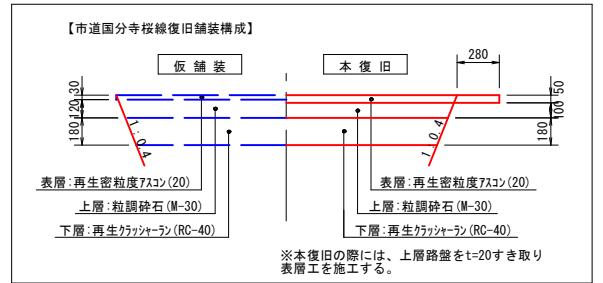
※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイフライン」P.270より、軟弱地盤における基床厚を確保する。

勾配	(143.682)	(143.650)	(141.450)	(139.470)	(137.840)	(134.960)	(134.819)	
工種	VP (RR) φ200 L=223.760m, SL=224.006m							
土被り	0.62	0.74	0.60	0.60	1.02	0.60	0.61	
管中心高	143.682	143.650	141.450	139.470	138.544	137.840	136.817	
地盤高	144.41	144.50	142.16	140.18	139.67	138.55	135.57	
追加距離	0.00	11.36	50.00	100.00	150.00	188.00	221.79	
単距離	0.00	11.36	38.64	50.00	50.00	38.00	21.79	
測点	ISNO.0	ISIP.1 +20.00	ISNO.1	ISNO.2	ISNO.3	ISNO.4	ISIP.2 +1.97	
曲線	ISIP.1 IA=32-10-10						ISIP.2 IA=89-04-27	

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号支線配水路平面縦断面図		
縮尺	図示	図面番号	5

# 埋設管標準断面図(1/3)

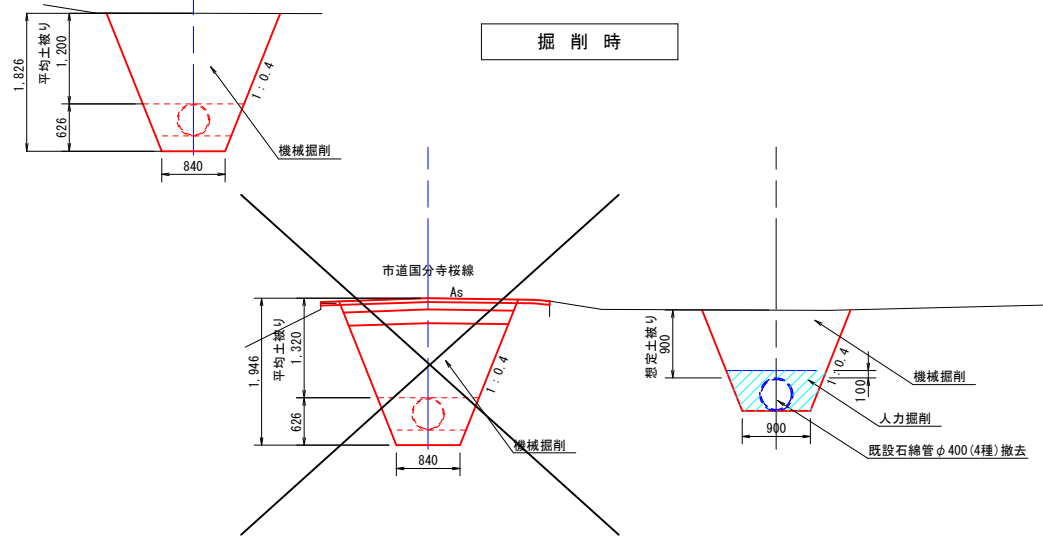
S=1:50



## 区間1K(1) : 1KN0.0~1KIP.13

(撤去:既設ACPφ400(4種)(1号幹線配水路))

今回施工断面

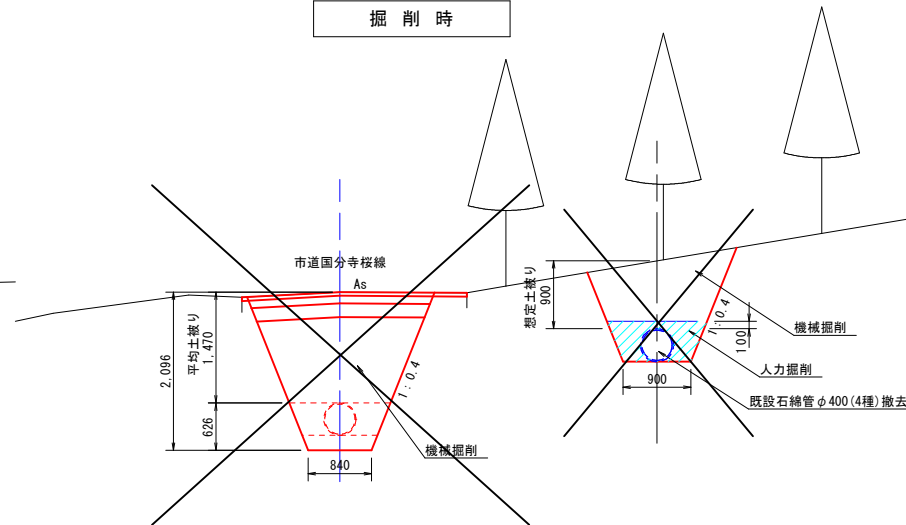


土工数量表 [1m当り]						今回数量
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位 数量	
機械掘削	床掘	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.62
	床掘	砂質土	1.0m≦平均幅<2.0m	ハツヤ約(山積)0.45m3	m3	3.69
人力掘削	管水路基礎整形	基礎面			m2	0.84
	管水路基礎整形	法面			m2	1.35
基礎工	1	再生砂	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m3	0.18
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.36
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.44
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m3	0.51
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	1.24
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.92
路盤工		粒調砕石 M-30 t=***			m2	-
下層路盤工		再生カッターラン RC-40 t=180			m2	2.18
上層路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=120			m2	2.30
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m2	2.27
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.05
表層工	本復旧	再生密粒度As t=50			m2	3.03

## 区間1K(2) : 1KIP.13~1KN0.11

(撤去:既設ACPφ400(4種)(1号幹線配水路))

掘削時

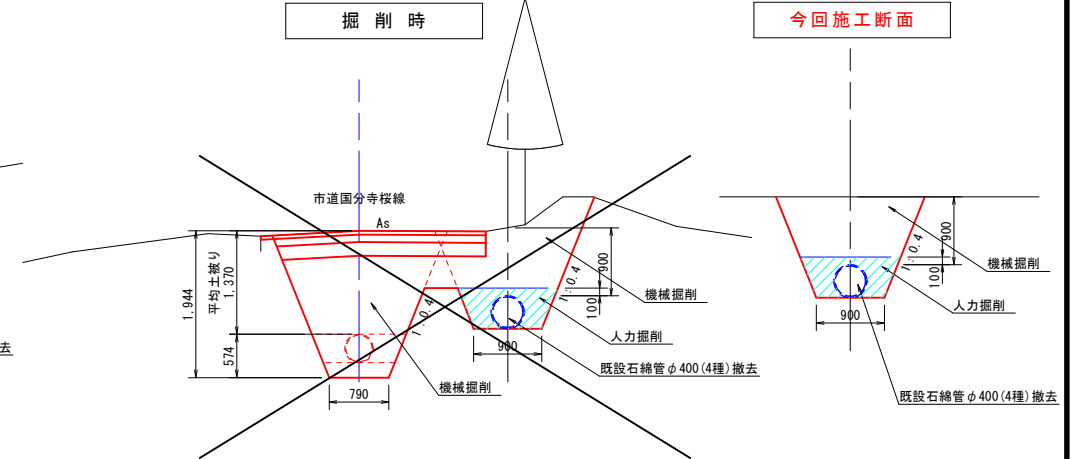


土工数量表 [1m当り]						今回数量
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位 数量	
機械掘削	床掘	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.65
	床掘	砂質土	1.0m≦平均幅<2.0m	ハツヤ約(山積)0.45m3	m3	4.02
人力掘削	管水路基礎整形	基礎面			m2	0.84
	管水路基礎整形	法面			m2	1.35
基礎工	1	再生砂	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m3	0.18
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.36
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.44
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m3	0.51
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	1.06
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.93
路盤工		粒調砕石 M-30 t=***			m2	-
下層路盤工		再生カッターラン RC-40 t=180			m2	2.30
上層路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=120			m2	2.42
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m2	2.49
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.05
表層工	本復旧	再生密粒度As t=50			m2	2.98

## 区間1K(3) : 1KN0.11~1KN0.13

(撤去:既設ACPφ400(4種)(1号幹線配水路))

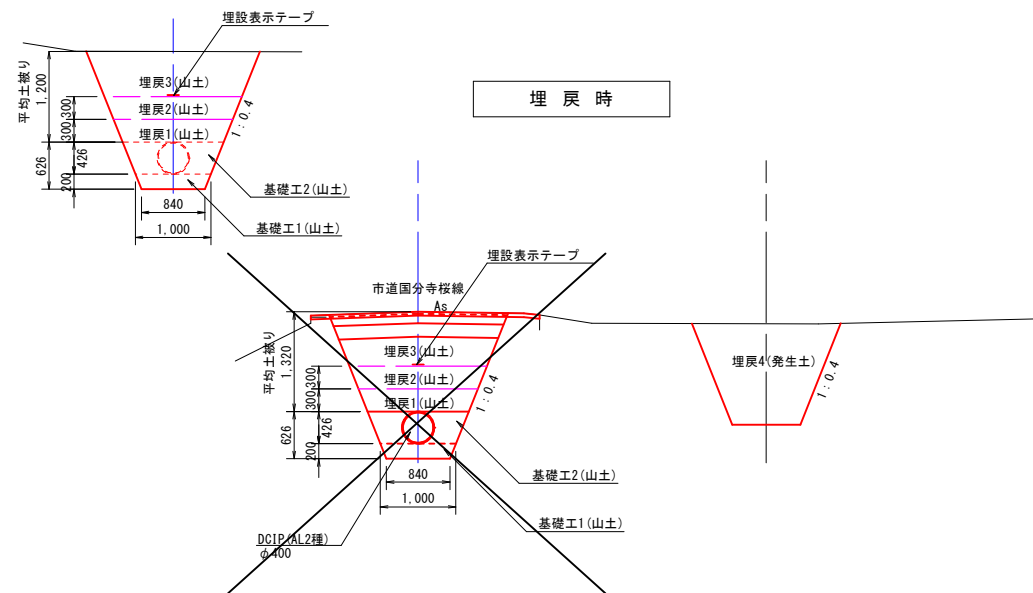
掘削時



土工数量表 [1m当り]						今回数量
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位 数量	
機械掘削	床掘	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.77
	床掘	砂質土	1.0m≦平均幅<2.0m	ハツヤ約(山積)0.45m3	m3	3.73
人力掘削	管水路基礎整形	基礎面			m2	0.79
	管水路基礎整形	法面			m2	1.24
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.17
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.30
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.41
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m3	0.48
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	0.99
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.86
路盤工		粒調砕石 M-30 t=***			m2	-
下層路盤工		再生カッターラン RC-40 t=180			m2	2.73
上層路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=120			m2	2.79
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m2	2.83
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	2.0m≦平均幅	ハツヤ約(山積)0.80m3	m3	0.06
表層工	本復旧	再生密粒度As t=50			m2	2.98

今回施工断面

(敷設:DCIP(AL2種)φ400(1号幹線配水路))

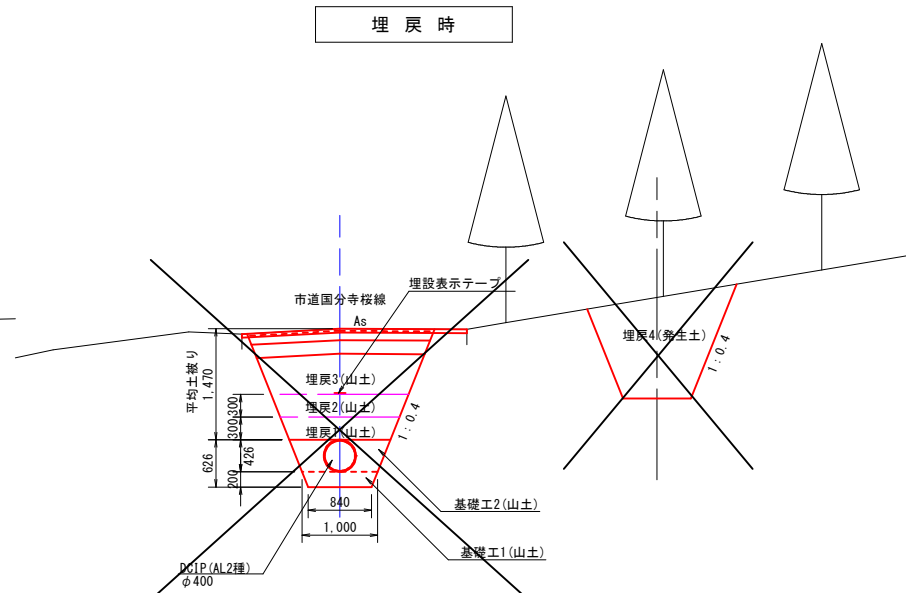


※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

(注)掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2,3)に限りその使用の可否を判断すること。

(敷設:DCIP(AL2種)φ400(1号幹線配水路))

埋戻時

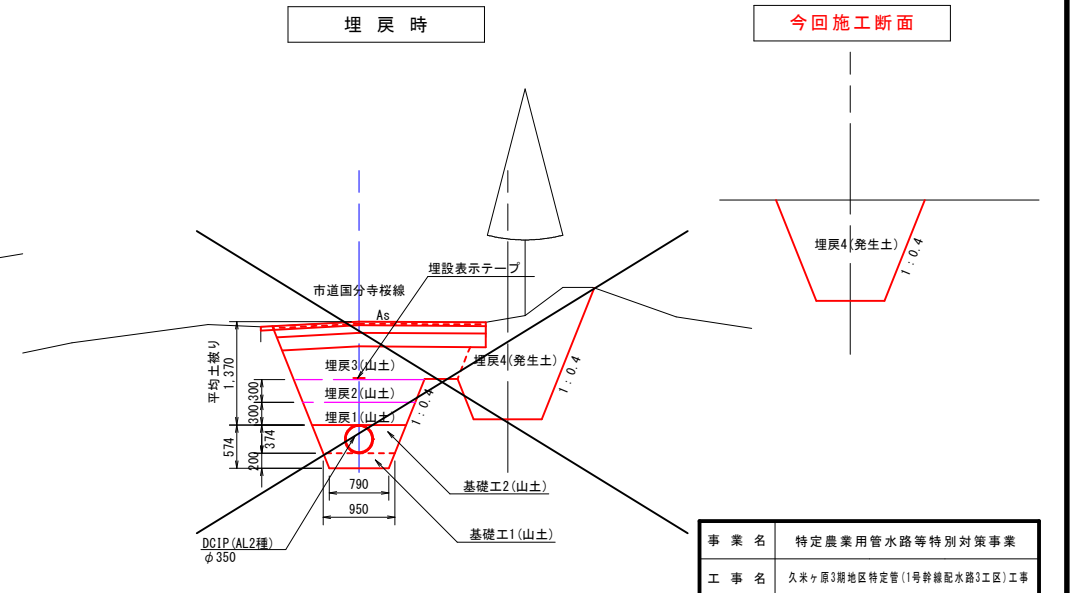


※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

(注)掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2,3)に限りその使用の可否を判断すること。

(敷設:DCIP(AL2種)φ350(1号幹線配水路))

埋戻時



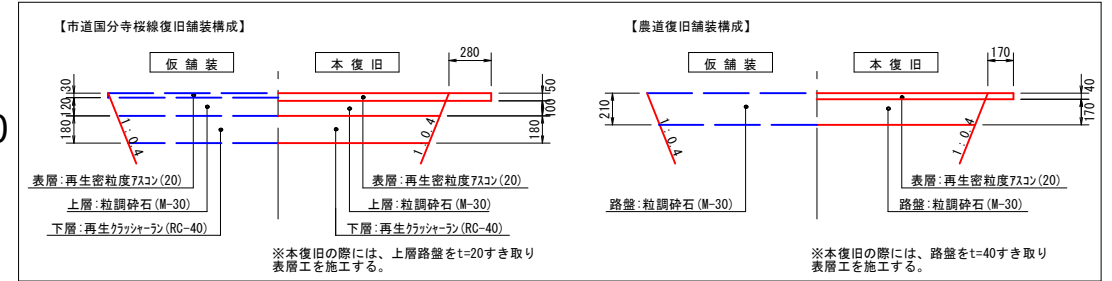
※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

(注)掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2,3)に限りその使用の可否を判断すること。

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市農部
図面の名称	埋設管標準断面図(1/3)		
縮尺	1:50	図面番号	6-1

# 埋設管標準断面図(2/3)

S=1:50



## 区間1K(4) : 1KN0.13~1KN0.17+12.93

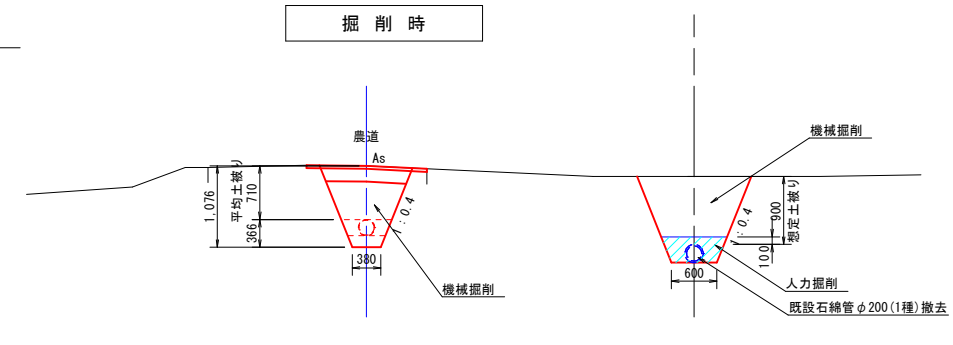
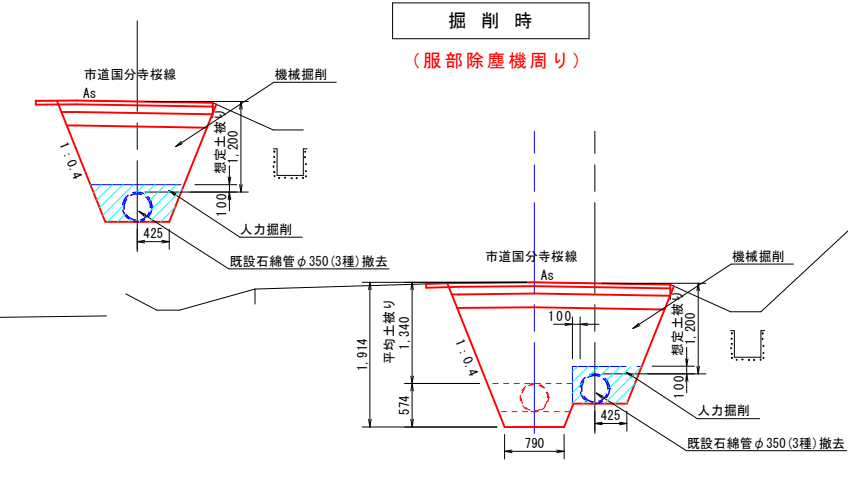
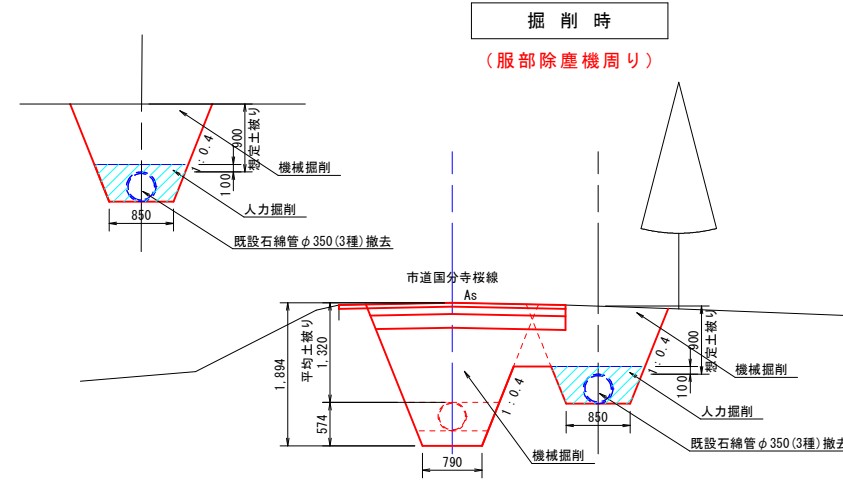
## 区間1K(5) : 1KIP.22~AIP.25-1

## 区間1S : 1SN0.0~1SEP

撤去のみ区間 (撤去:既設ACPφ350(3種)(1号幹線配水路))

撤去のみ区間 (撤去:既設ACPφ350(3種)(1号幹線配水路))

(撤去:既設ACPφ200(1種)(1号支線配水路))



土工数量表 [1m当り]						撤去のみ区間	
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量	
機械掘削	床掘	路盤材	2.0m≦平均幅	バックホ(山積)0.80m3	m3	0.72	-
	床掘	砂質土	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホ(山積)0.45m3	m3	3.44	1.25
人力掘削	管水路基礎整形				m3	0.39	0.39
	管水路基礎整形	基面			m2	0.79	-
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.17	-
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.30	-
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.41	-
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイト式振動ローラ	m3	0.54	-
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	0.89	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.52	1.75
路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=***			m2	-	-
下層路盤工	仮復旧	再生カマツラン RC-40 t=180			m2	2.55	-
上層路盤工	仮復旧	粒調調整砕石 M-30 t=120			m2	2.61	-
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m2	2.64	-
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	2.0m≦平均幅	バックホ(山積)0.80m3	m3	0.05	-
表層工	本復旧	再生密粒度As t=50			m2	3.00	-

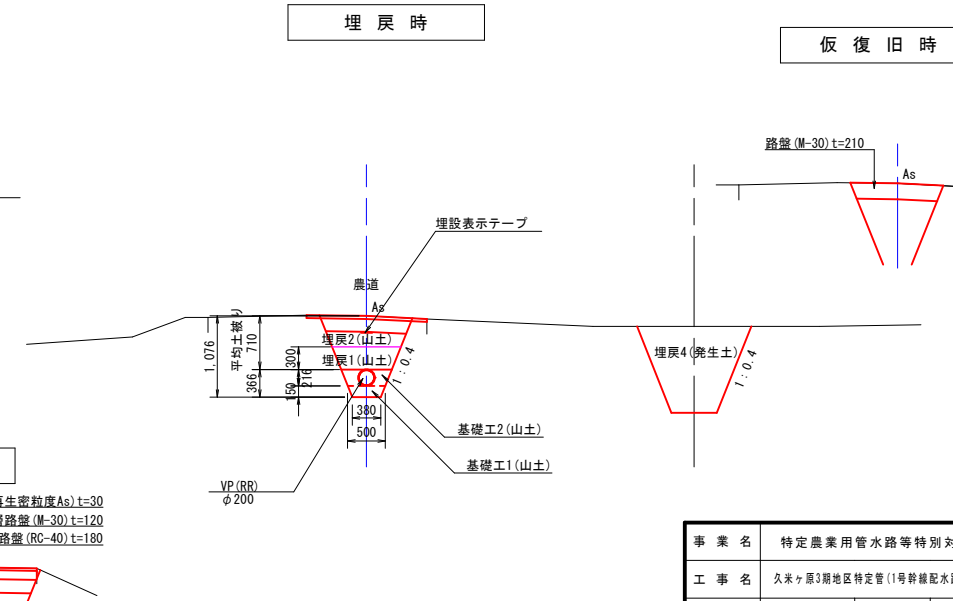
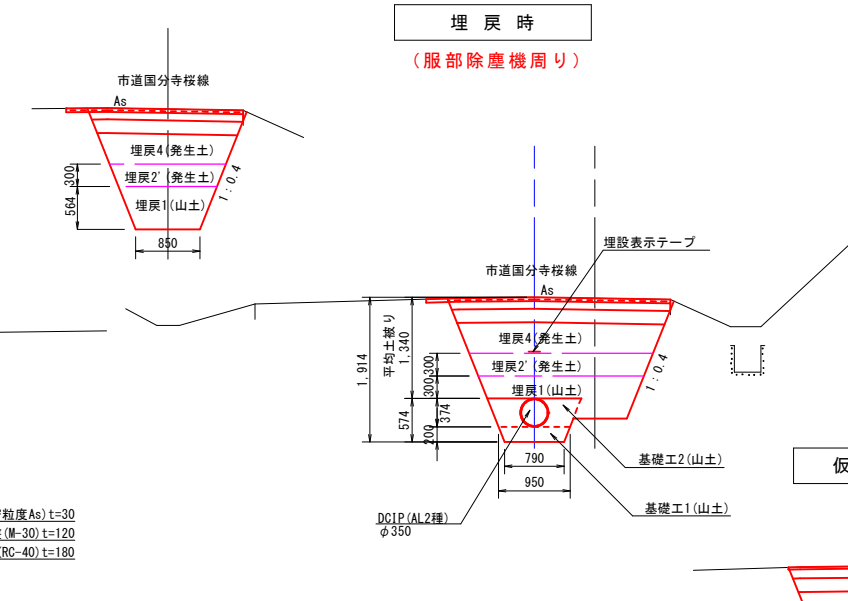
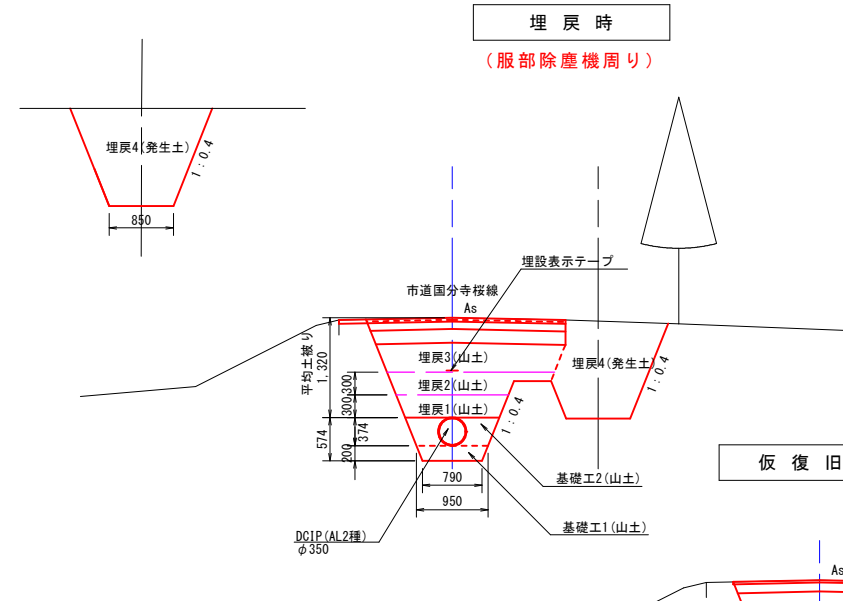
土工数量表 [1m当り]						撤去のみ区間	
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量	
機械掘削	床掘	路盤材	2.0m≦平均幅	バックホ(山積)0.80m3	m3	0.80	0.55
	床掘	砂質土	2.0m≦平均幅	バックホ(山積)0.80m3	m3	2.72	1.19
人力掘削	管水路基礎整形				m3	0.28	0.39
	管水路基礎整形	基面			m2	0.79	-
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.17	-
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.30	-
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.81	0.61
	2	発生土	1.0m≦幅	ハンドガイト式振動ローラ	m3	0.70	0.43
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	-	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.04	0.67
路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=***			m2	-	-
下層路盤工	仮復旧	再生カマツラン RC-40 t=180			m2	2.82	1.94
上層路盤工	仮復旧	粒調調整砕石 M-30 t=120			m2	2.92	2.03
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m2	2.95	2.07
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	2.0m≦平均幅	バックホ(山積)0.80m3	m3	0.05	0.05
表層工	本復旧	再生密粒度As t=50			m2	3.24	2.35

土工数量表 [1m当り]						撤去のみ区間	
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量	
機械掘削	床掘	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホ(山積)0.45m3	m3	0.19	-
	床掘	砂質土	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホ(山積)0.45m3	m3	1.58	0.95
人力掘削	管水路基礎整形				m3	0.21	0.21
	管水路基礎整形	基面			m2	0.38	-
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.07	-
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m3	0.09	-
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m3	0.24	-
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイト式振動ローラ	m3	0.19	-
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m3	-	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m3	1.21	1.21
路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=210			m2	1.15	-
下層路盤工	仮復旧	再生カマツラン RC-40 t=180			m2	-	-
上層路盤工	仮復旧	粒調調整砕石 M-30 t=100			m2	-	-
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホ(山積)0.45m3	m3	0.05	-
表層工	本復旧	再生密粒度As t=40			m2	1.59	-

撤去のみ区間 (敷設:DCIP(AL2種)φ350(1号幹線配水路))

撤去のみ区間 (敷設:DCIP(AL2種)φ350(1号幹線配水路))

(敷設:VP(RR)φ200(1号支線配水路))



※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。  
(注)掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2,3)に限りその使用の可否を判断すること。

※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

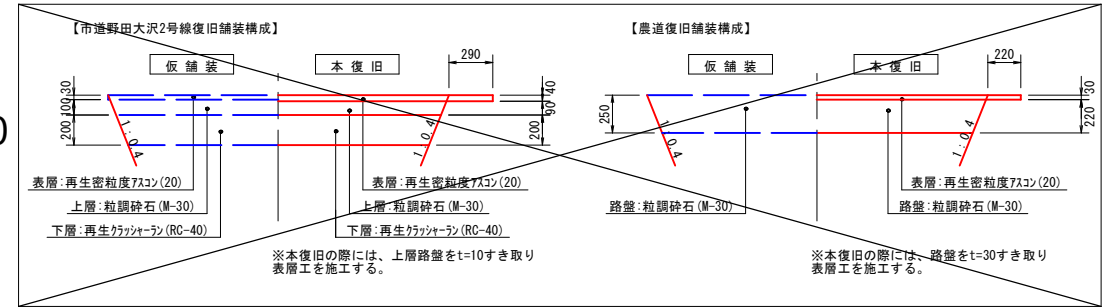
※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「ハイブライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。

(注)掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2)に限りその使用の可否を判断すること。

事業名	特定農業用管路等特別対策事業
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事
施工年度	令和6年度
施工位置	倉吉市農部
図面の名称	埋設管標準断面図(2/3)
縮尺	1:50
図面番号	6-2

# 埋設管標準断面図 (3/3)

S=1:50

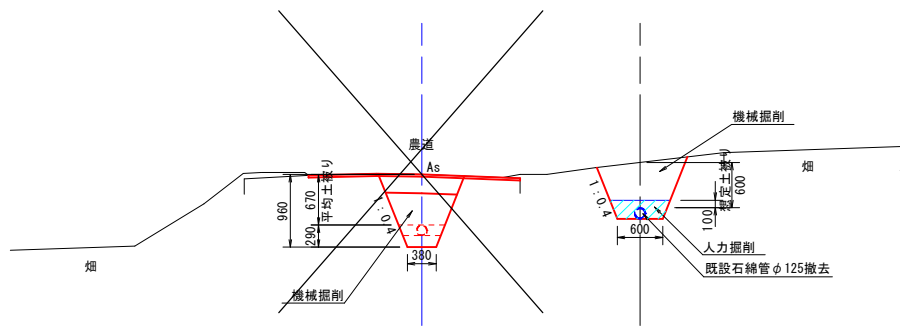


## 区間8B-2(4) : 8B-2N0.9+36.00~8B-2EP

(撤去: 既設ACP φ125(87°ロック管路-2))

掘削時

今回施工 (既設管撤去のみ)



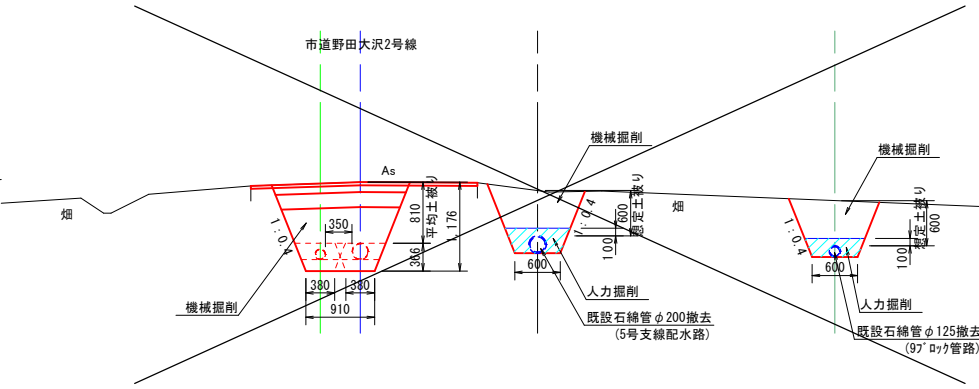
名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量
機械掘削	床掘	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.23
	床掘	砂質土	1.0m>平均幅	バックホウ(山積)	0.28m <sup>3</sup>	0.97
人力掘削					m <sup>3</sup>	0.16
管水路基礎整形	基面				m <sup>2</sup>	0.38
	法面				m <sup>2</sup>	0.62
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.07
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m <sup>3</sup>	0.06
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.22
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m <sup>3</sup>	0.11
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m <sup>3</sup>	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m <sup>3</sup>	0.67
路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=250			m <sup>2</sup>	1.04
下層路盤工		再生カマクラン RC-40 t=180			m <sup>2</sup>	-
上層路盤工		粒調砕石 M-30 t=100			m <sup>2</sup>	-
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m <sup>2</sup>	1.83
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.02
表層工	本復旧	再生密粒度As t=40			m <sup>2</sup>	3.00

今回施工  
既設管撤去のみ

## 区間5S(1) : 5SIP.1~5SN0.11

(撤去: 既設ACP φ200(5号支線配水路))  
(撤去: 既設ACP φ125(97°ロック管路))

掘削時

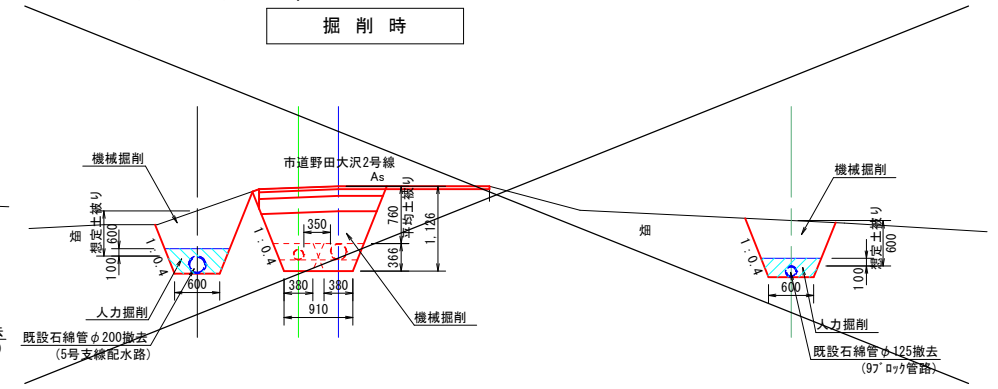


名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量
機械掘削	床掘	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.49
	床掘	砂質土	1.0m>平均幅	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	2.09
人力掘削					m <sup>3</sup>	0.36
管水路基礎整形	基面				m <sup>2</sup>	0.91
	法面				m <sup>2</sup>	0.79
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.15
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m <sup>3</sup>	0.19
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.40
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m <sup>3</sup>	0.25
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m <sup>3</sup>	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m <sup>3</sup>	1.46
路盤工		粒調砕石 M-30 t=***			m <sup>2</sup>	-
下層路盤工		再生カマクラン RC-40 t=200			m <sup>2</sup>	1.65
上層路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=100			m <sup>2</sup>	1.77
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m <sup>2</sup>	1.83
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.02
表層工	本復旧	再生密粒度As t=40			m <sup>2</sup>	3.00

## 区間5S(2) : 5SN0.11~5SN0.12+47.00

(撤去: 既設ACP φ200(5号支線配水路))  
(撤去: 既設ACP φ125(97°ロック管路))

掘削時

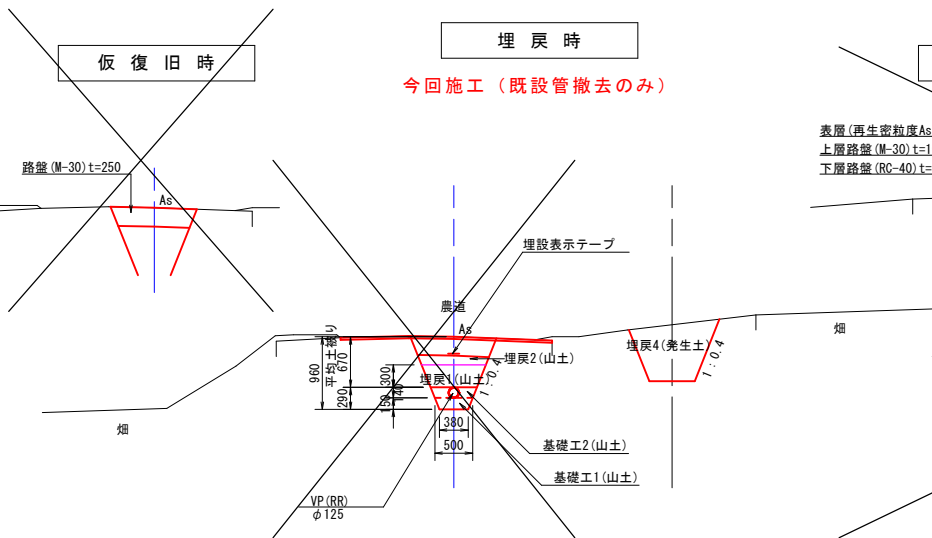


名称	区分	材料	施工幅	施工機種	単位	数量
機械掘削	床掘	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.47
	床掘	砂質土	1.0m>平均幅	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	2.01
人力掘削					m <sup>3</sup>	0.36
管水路基礎整形	基面				m <sup>2</sup>	0.91
	法面				m <sup>2</sup>	0.79
基礎工	1	再生砂	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.15
	2	再生砂	0.45m>幅	タンバ	m <sup>3</sup>	0.19
埋戻	1	山土	0.45m≦幅	振動コンパクタ	m <sup>3</sup>	0.40
	2	山土	1.0m≦幅	ハンドガイド式振動ローラ	m <sup>3</sup>	0.17
	3	山土	1.0m≦幅<2.5m	搭乗式振動ローラ	m <sup>3</sup>	-
	4	発生土	1.0m≦幅<2.5m	-	m <sup>3</sup>	1.47
路盤工		粒調砕石 M-30 t=***			m <sup>2</sup>	-
下層路盤工		再生カマクラン RC-40 t=200			m <sup>2</sup>	1.60
上層路盤工	仮復旧	粒調砕石 M-30 t=100			m <sup>2</sup>	1.66
表層工	仮復旧	再生密粒度As t=30			m <sup>2</sup>	1.69
機械掘削	床掘・本復旧	路盤材	1.0m≦平均幅<2.0m	バックホウ(山積)	0.45m <sup>3</sup>	0.02
表層工	本復旧	再生密粒度As t=40			m <sup>2</sup>	3.05

(敷設: VP(RR) φ125(87°ロック管路-2))

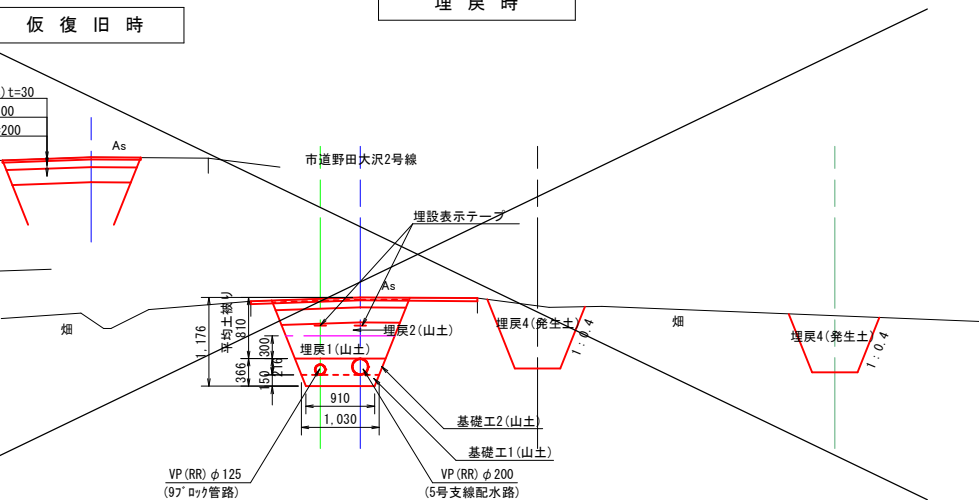
埋戻時

今回施工 (既設管撤去のみ)



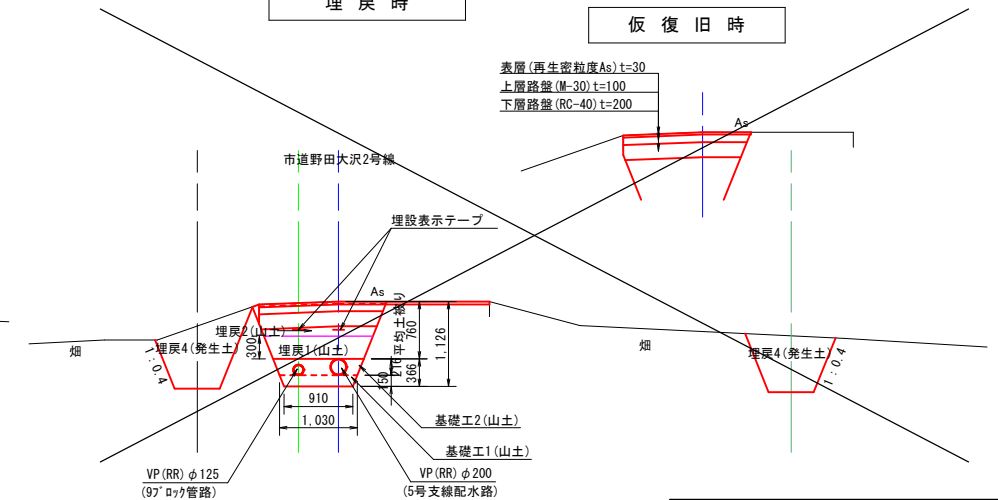
(敷設: VP(RR) φ200(支線5号配水路))  
(敷設: VP(RR) φ125(97°ロック管路))

埋戻時



(敷設: VP(RR) φ200(支線5号配水路))  
(敷設: VP(RR) φ125(97°ロック管路))

埋戻時



※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「パイプライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。  
(注) 掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2)に限りその使用の可否を判断すること。

※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「パイプライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。  
(注) 掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2)に限りその使用の可否を判断すること。

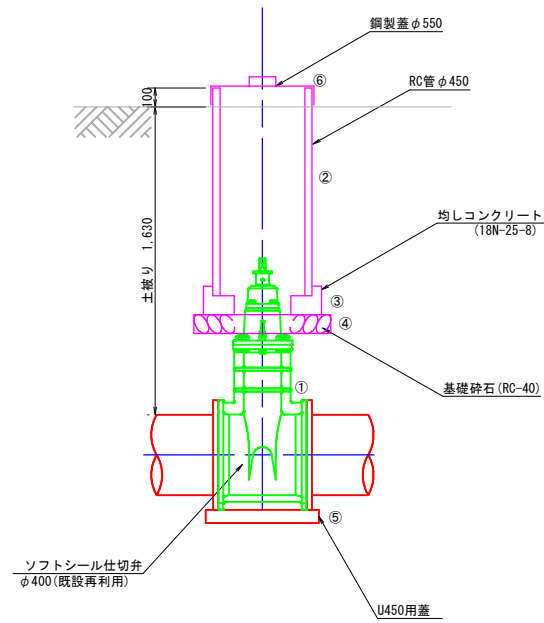
※土質調査結果より、換算N値=2.6~5(平均値)の軟弱砂質地盤が確認されたため設計基準「パイプライン」P.270より、軟弱地盤における基礎厚を確保する。  
(注) 掘削時において良質土が確保できる場合は、管頂上30cm区間より上方(埋戻2)に限りその使用の可否を判断すること。

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事
施工年度	令和6年度
施工位置	倉吉市下福田
図面の名称	埋設管標準断面図(3/3)
縮尺	1:50
図面番号	6-3

# 制水弁工構造図

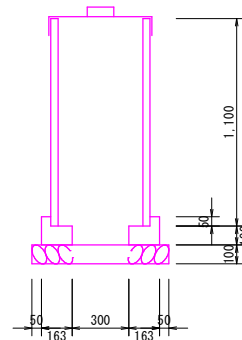
1K1号制水弁工  
(φ400)

S=1:20



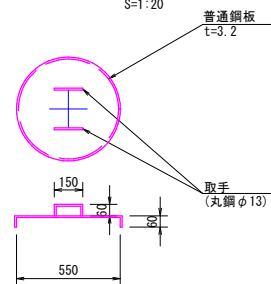
制水弁保護工詳細図

S=1:20



鋼製蓋詳細図 (参考図)

S=1:20



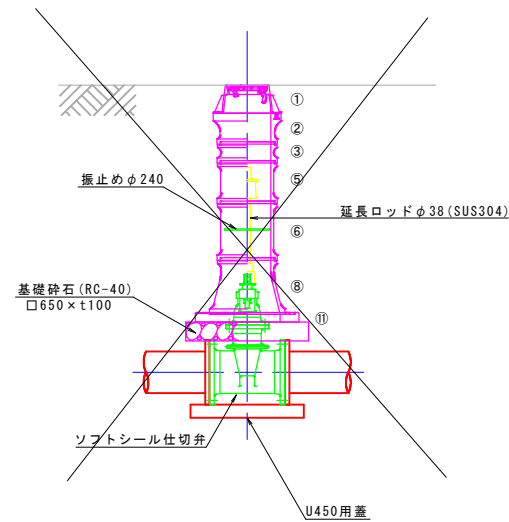
鋼製蓋 1枚当り		
普通鋼板	t=3.2	9.04 kg
丸鋼	φ13	0.56 kg

材料表

名称	1K1号制水弁工
埋設測点	1号幹線配水路 1KN0.0+5.00
材料	① ソフトシール仕切弁 φ400 (0.75Mpa, 既設再利用)
	② RC管 φ450, L=1100
	③ 均しコンクリート
	④ 基礎砕石 RC-40, t=100
	⑤ U450用蓋
	⑥ 鋼製蓋 φ550

制水弁工  
(φ200以下)

S=1:20



制水弁工 (φ200以下) 数量表

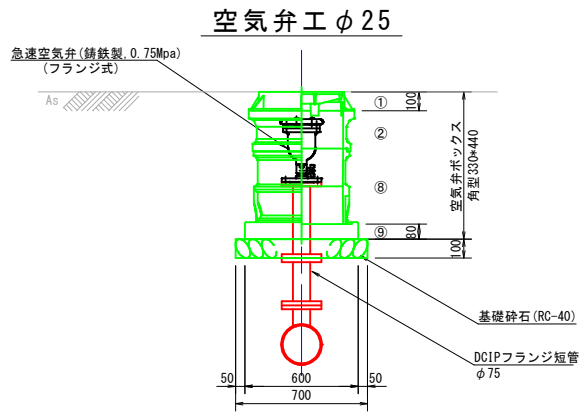
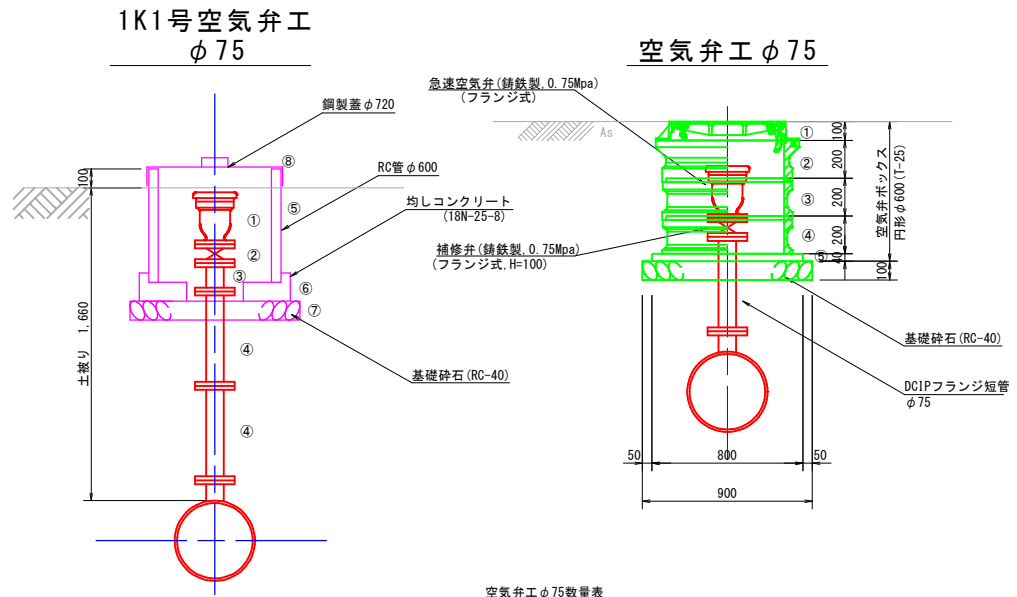
番号	名称	2号支線配水路 2S1号制水弁工 2SN0.0+3.00	2号支線配水路 2S2号制水弁工 2SEP	5S号支線配水路 5S1号制水弁工 5SN0.0+12.00	5S号支線配水路 5S2号制水弁工 5SN0.14+29.00	8ブロック管路 8B1号制水弁工 8B-1N0.5+30.00	8ブロック管路 8B2号制水弁工 8B-2N0.0+6.00	9ブロック管路 9B1号制水弁工 9SN0.2+10.00	9ブロック管路 9B2号制水弁工 9SN0.5+3.00	9ブロック管路 9B3号制水弁工 9SN0.6+4.00	9ブロック管路 9B4号制水弁工 9B-1N0.0+6.00	9ブロック管路 9B5号制水弁工 9B-2N0.0+4.00	9ブロック管路 9B6号制水弁工 9B-3N0.0+3.00	9ブロック管路 9B7号制水弁工 9B-4N0.0+5.00	13ブロック管路 13B1号制水弁工 8SN0.14+27.70
①	水道用円形鉄蓋 1号 φ250, H=150	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②	水道用レジンコンクリート製ボックス 上部壁RB25 (A), φ250, H=150	1	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-
③	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB25 (B), φ250, H=100	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
④	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB25 (B), φ250, H=150	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-
⑤	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB25 (B), φ250, H=200	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB25 (B), φ250, H=300	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
⑦	水道用レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB25 (C), φ250, H=200	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
⑧	水道用レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB25 (C), φ250, H=300	1	1	1	-	-	1	1	1	-	1	-	1	1	1
⑨	水道用レジンコンクリート製ボックス 上下部壁RB25 (CA), φ250, H=150	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩	水道用レジンコンクリート製ボックス 上下部壁RB25 (CA), φ250, H=300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑪	水道用レジンコンクリート製ボックス 底版RB25 (P), φ250, H=40	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑫	水道用レジンコンクリート製ボックス 調整リングRB25 (K), φ250, H=100	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ソフトシール仕切弁	φ200 (0.75Mpa)	φ200 (0.75Mpa)	φ200 (0.75Mpa)	φ200 (0.75Mpa)	φ150 (0.75Mpa)	φ150 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)	φ125 (0.75Mpa)
	延長ロッド φ38 (SUS304)	0.5m	0.3m	0.1m	-	-	-	0.2m	0.1m	0.1m	0.3m	-	-	0.2m	-
	振止め φ240	1	1	1	-	-	-	1	1	1	1	-	-	1	-
	U450用蓋	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※保護工はJWWA K 148に準ずるものとする。  
図は参考図である。

事業名	特定農業用管路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市殿部
図面の名称	制水弁工構造図		
縮尺	1:20	図面番号	7

# 空気弁工構造図

S=1:20



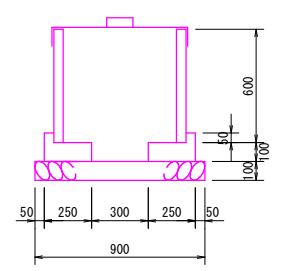
空気弁工 φ25数量表

番号	名称	1号幹線配水路 1SNO. 0+3.00	2号幹線配水路 2SNO. 0+5.00	2号幹線配水路 2SNO. 2+36.00	5号幹線配水路 5S1号空気弁工 SSNO. 0+14.00	5号幹線配水路 5S2号空気弁工 SSNO. 9+20.00	5号幹線配水路 5S3号空気弁工 SSNO. 14+31.00	5号幹線配水路 5S4号空気弁工 SSNO. 21+31.00	5号幹線配水路 5S5号空気弁工 SSNO. 27+39.00	8ブロック管路 8B1号空気弁工 8B-1NO. 2+29.00	8ブロック管路 8B2号空気弁工 8B-1NO. 5+32.00	8ブロック管路 8B3号空気弁工 8B-1NO. 9+35.00	8ブロック管路 8B4号空気弁工 8B-1NO. 12	8ブロック管路 8B5号空気弁工 8B-2NO. 0+8.00	8ブロック管路 8B6号空気弁工 8B-2NO. 2+31.00
①	鉄蓋 角形440×330 H=100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②	角形レジンコンクリート製ボックス 上部壁RB4433 (A), 440×330, H=200	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
③	角形レジンコンクリート製ボックス 上下部壁RB4433 (AC), 440×330, H=200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	角形レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB4433 (B), 440×330, H=100	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	角形レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB4433 (B), 440×330, H=200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥	角形レジンコンクリート製ボックス 中下部壁RB4433 (BC), 440×330, H=100	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-
⑦	角形レジンコンクリート製ボックス 中下部壁RB4433 (BC), 440×330, H=200	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
⑧	角形レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB4433 (CN), 440×330, H=400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨	コンクリート底版, 600×200, H=80	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	角形レジンコンクリート製ボックス 調整リングRB4433 (K), 440×330	H=30×1 H=50×1	-	-	-	-	-	H=50×1	H=30×1 H=50×1	H=50×1	H=50×1	-	-	H=50×1	H=30×1 H=50×1
	DCIPフランジ短管φ75 (0.75MPa)	L=300×1 L=400×1	L=300×1 L=400×1	L=300×2	L=150×1 L=200×1	L=100×1	L=100×1	L=150×1	L=150×1	L=100×1	L=100×1	L=100×1	-	L=250×1	L=250×1
	急速空気弁 (フランジ付ねじ込み型)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)

※図は参考図である。

## 空気弁保護工詳細図

S=1:20



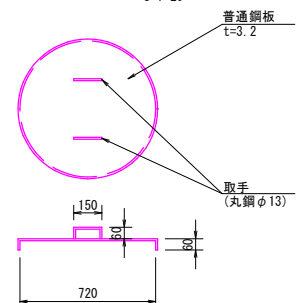
空気弁工 φ75数量表

番号	名称	1号幹線配水路 1KNO. 9+30.00	1号幹線配水路 1KNO. 18+25.00
①	水道用円形鉄蓋4号φ600, H=100	1	1
②	水道用レジンコンクリート製ボックス 上部壁RB60 (A), φ600, H=200	1	1
③	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB60 (B), φ600, H=200	1	1
④	水道用レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB60 (C), φ600, H=200	1	1
⑤	水道用レジンコンクリート製ボックス 底版RB60 (P), φ600, H=40	1	1
	DCIPフランジ短管φ75 (0.75MPa)	L=300×1 L=400×1	L=300×1 L=400×1
	急速空気弁 (フランジ型)	φ75 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ75 (鑄鉄製) (0.75Mpa)
	水道用補修弁 (フランジ型) H=100	φ75 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ75 (鑄鉄製) (0.75Mpa)

※保護工はJWWA K148に準ずるものとする。  
図は参考図である。

## 鋼製蓋詳細図

S=1:20



鋼製蓋 1枚当り	
普通鋼板	t=3.2 14.07 kg
丸鋼	φ13 0.56 kg

## 材料表

名称	1K1号空気弁工
埋設測点	1号幹線配水路 1KNO. 0+7.50
材料	① 急速空気弁φ75 (鑄鉄製, 0.75Mpa)
	② 水道用補修弁φ75 (鑄鉄製, 0.75Mpa, H=100)
	③ DCIPフランジ短管φ75 (L=150-0.75Mpa)
	④ DCIPフランジ短管φ75 (L=500-0.75Mpa)
	⑤ RC管φ600, L=600
	⑥ 均しコンクリート
	⑦ 基礎砕石 RC-40, t=100
	⑧ 鋼製蓋φ720

空気弁工 φ25数量表

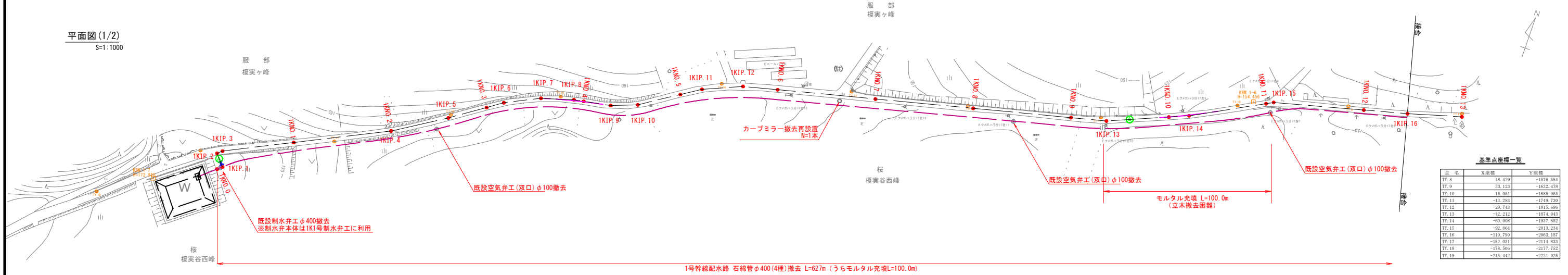
番号	名称	8ブロック管路 8B7号空気弁工 8B-2NO. 11	9ブロック管路 9B1号空気弁工 SSNO. 0+13.00	9ブロック管路 9B2号空気弁工 SSNO. 2+12.00	9ブロック管路 9B3号空気弁工 SSNO. 5+5.00	9ブロック管路 9B4号空気弁工 SSNO. 6+42.00	9ブロック管路 9B5号空気弁工 SSNO. 9+13.50	9ブロック管路 9B6号空気弁工 9B-1NO. 0+8.00	9ブロック管路 9B7号空気弁工 9B-1NO. 4+33.70	9ブロック管路 9B8号空気弁工 9B-2NO. 0+6.00	9ブロック管路 9B9号空気弁工 9B-3NO. 0+4.50	9ブロック管路 9B10号空気弁工 9B-3NO. 2+48.00	9ブロック管路 9B11号空気弁工 9B-4NO. 0+7.00	13ブロック管路 13B1号空気弁工 SSNO. 14+30.18
①	鉄蓋 角形440×330 H=100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②	角形レジンコンクリート製ボックス 上部壁RB4433 (A), 440×330, H=200	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
③	角形レジンコンクリート製ボックス 上下部壁RB4433 (AC), 440×330, H=200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	角形レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB4433 (B), 440×330, H=100	-	1	1	1	1	-	1	1	-	-	-	1	-
⑤	角形レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB4433 (B), 440×330, H=200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥	角形レジンコンクリート製ボックス 中下部壁RB4433 (BC), 440×330, H=100	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
⑦	角形レジンコンクリート製ボックス 中下部壁RB4433 (BC), 440×330, H=200	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	-	1	-
⑧	角形レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB4433 (CN), 440×330, H=400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨	コンクリート底版, 600×200, H=80	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	角形レジンコンクリート製ボックス 調整リングRB4433 (K), 440×330	-	-	-	-	-	-	-	-	H=50×1	H=50×1	-	-	H=50×1
	DCIPフランジ短管φ75 (0.75MPa)	L=200×1	L=400×1	L=400×1	L=300×1	L=300×1	L=150×1	L=250×1 L=300×1	L=150×1 L=200×1	L=150×1	L=250×1	-	L=400×1	L=150×1
	急速空気弁 (フランジ付ねじ込み型)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)	φ25 (鑄鉄製) (0.75Mpa)

※図は参考図である。

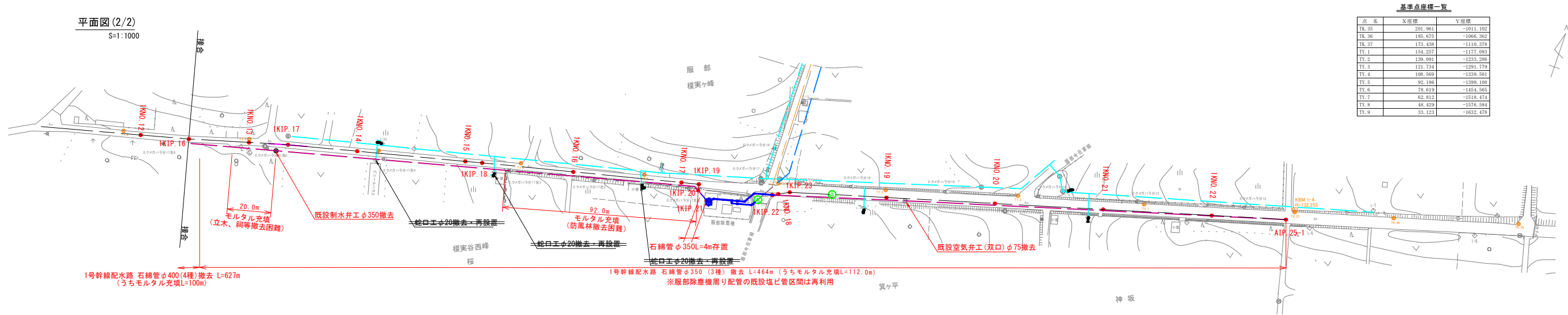
事業名	特定農業用管路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	空気弁工構造図		
縮尺	1:20	図面番号	8

# 1号幹線配水路 撤去復旧図

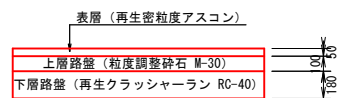
平面図 (1/2)  
S=1:1000



平面図 (2/2)  
S=1:1000



市道舗装復旧図  
S=1:25

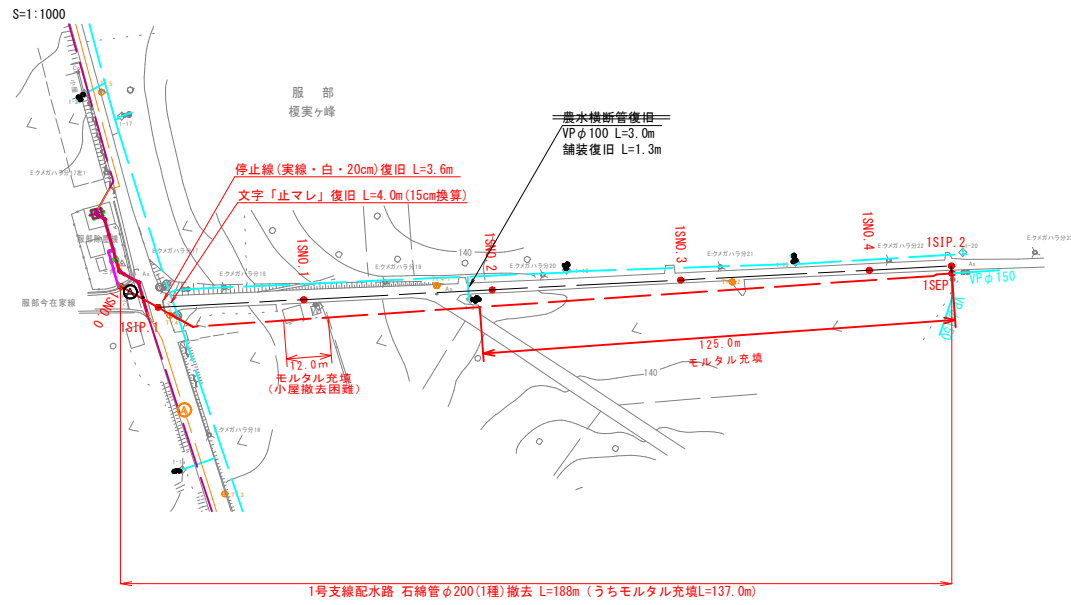


※地形図は、道路台帳を転写して作成している。

事業名	特定農業用管路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号幹線配水路撤去復旧図		
縮尺	1:1000	図面番号	9

# 1号支線配水路 撤去復旧図

平面図

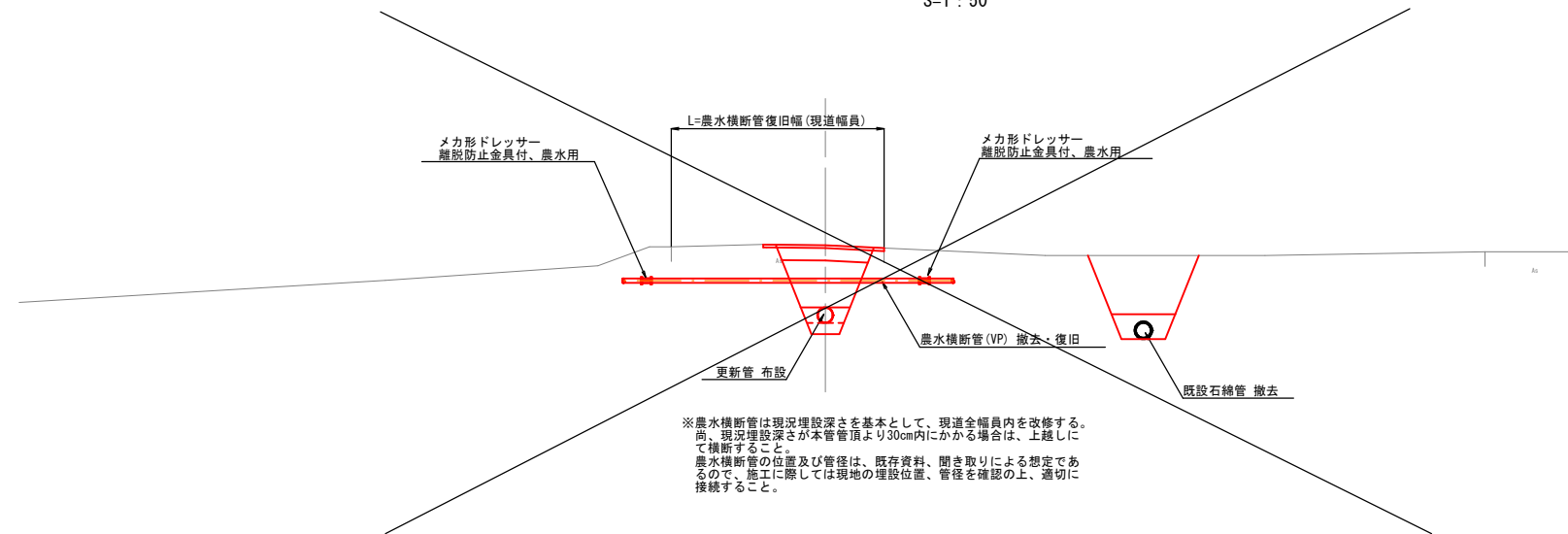


基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標
TV.3	121,734	-1341,379
TV.4	108,569	-1339,501
TV.5	92,196	-1399,100
TV.4-1	179,411	-1345,299
TV.4-2	257,764	-1344,010

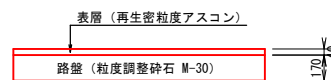
農水横断管復旧図

S=1:50



農道管理道舗装復旧図

S=1:25

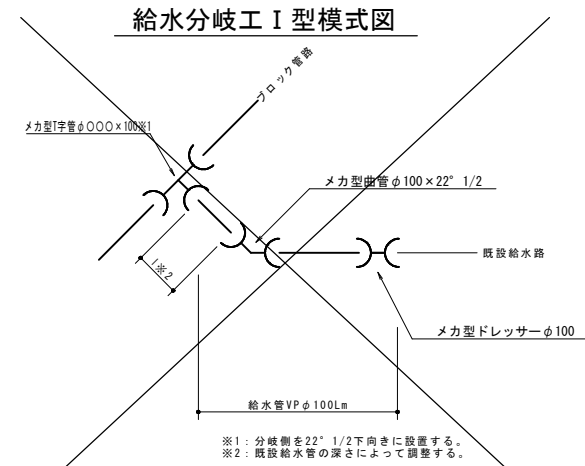
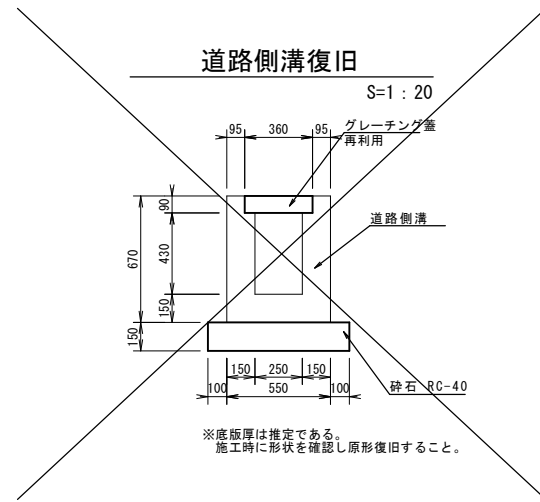
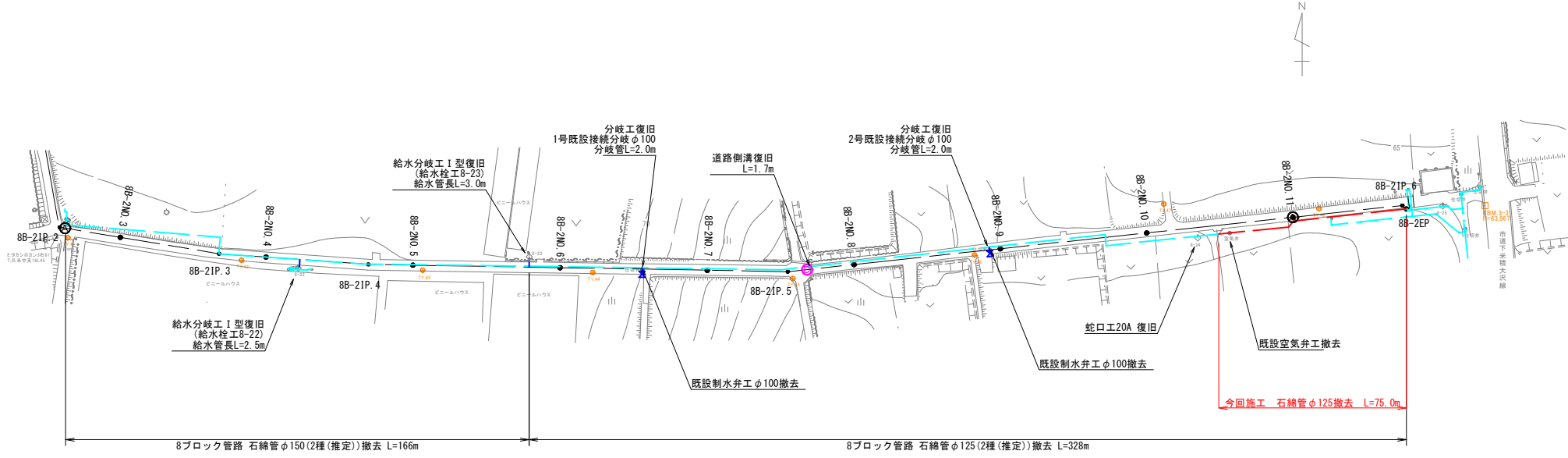


事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3層地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号支線配水路撤去復旧図		
縮尺	図示	図面番号	10



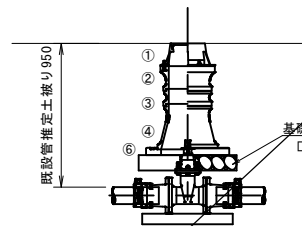
# 8ブロック管路-2 撤去復旧図

点名	X座標	Y座標
TV.34	928.995	2318.803
TV.40	867.390	2311.786
TV.41	896.415	2328.056
TV.42	796.803	2337.051
TV.43	796.653	2348.583
TV.44	794.646	2306.368
TV.45	792.596	2274.292
TV.46	806.573	2336.073
TV.47	817.898	2309.368
TV.48	816.394	2453.074



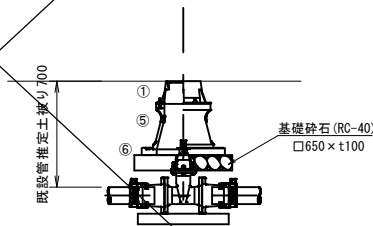
1号既設接続分岐 φ100 (制水弁工)

S=1:25



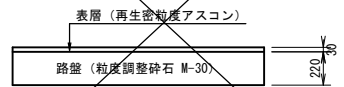
2号既設接続分岐 φ100 (制水弁工)

S=1:25



農道管理道舗装復旧図

S=1:25



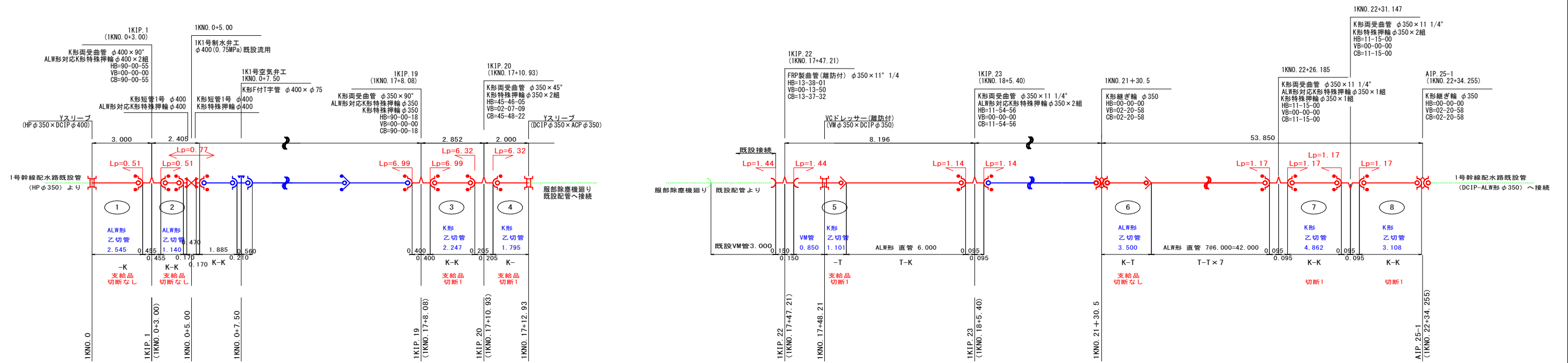
制水弁工数量表

番号	名称	1号既設接続分岐 φ100	2号既設接続分岐 φ100
①	水道用円形鉄蓋 1号 φ250, H=150	1	1
②	水道用レジンコンクリート製ボックス 上部壁RB25 (A), φ250, H=150	1	-
③	水道用レジンコンクリート製ボックス 中部壁RB25 (B), φ250, H=100	1	-
④	水道用レジンコンクリート製ボックス 下部壁RB25 (C), φ250, H=300	1	-
⑤	水道用レジンコンクリート製ボックス 上下部壁RB25 (CA), φ250, H=200	-	1
⑥	水道用レジンコンクリート製ボックス 底版RB25 (P), φ250, H=40	1	1
	ソフトシール仕切弁 φ100 (0.75Mpa)		
	U450用蓋 φ100 (0.75Mpa)	1	1

※保護工はJWWA K 148に準ずるものとする。図は参考図である。

事業名	特定農業用管路等特別対策事業
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事
施工年度	令和6年度
施工位置	倉吉市下福田
図面の名称	8ブロック管路-2撤去復旧図
縮尺	1:1000
図面番号	11

管割図(1号幹線配水路)

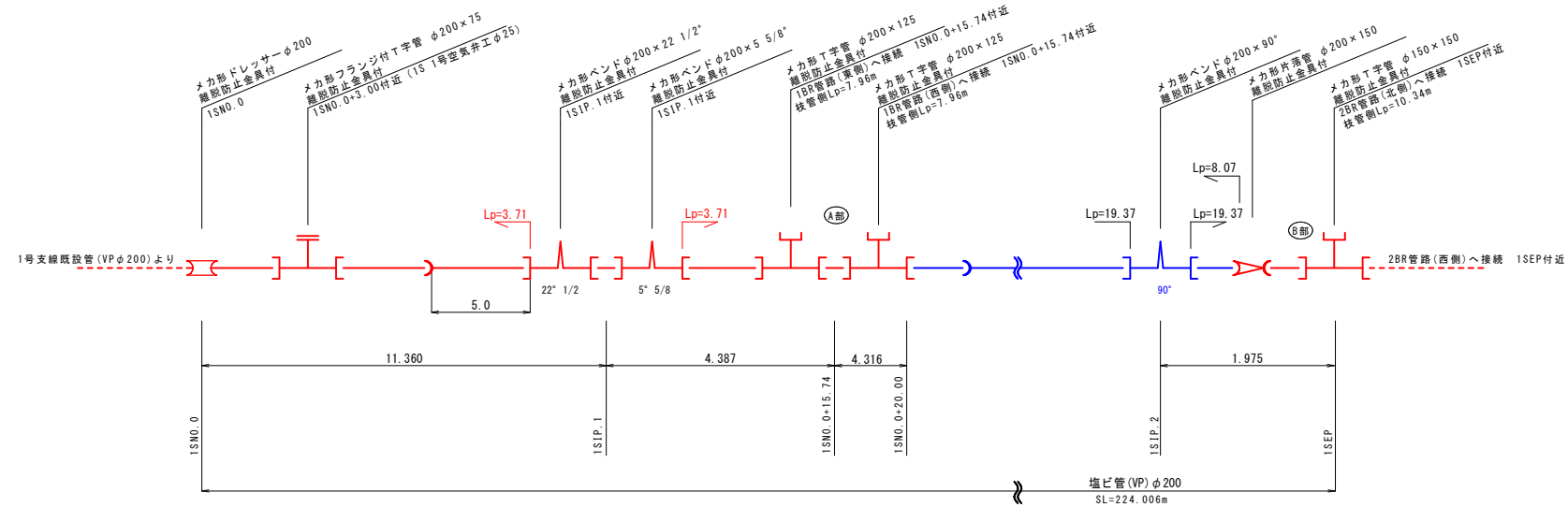


支給品資材一覧

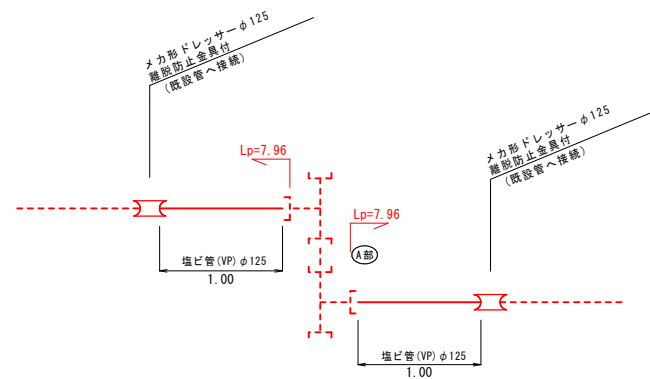
材料名	規格	区分	残管長	数量	単位	摘要	切断数
ダクタイル鋳鉄管	ALW形 φ400	乙切管	2,545mm	1	本	管割図①	—
ダクタイル鋳鉄管	ALW形 φ400	乙切管	1,140mm	1	本	管割図②	—
ダクタイル鋳鉄管	K形 φ350	乙切管	2,184mm	1	本	管割図④	1
ダクタイル鋳鉄管	K形 φ350	乙切管	3,500mm	1	本	管割図③⑤	2
ダクタイル鋳鉄管	ALW形 φ350	乙切管	3,500mm	1	本	管割図⑥	—

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3工区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号幹線配水路管割図		
縮尺	—	図面番号	12

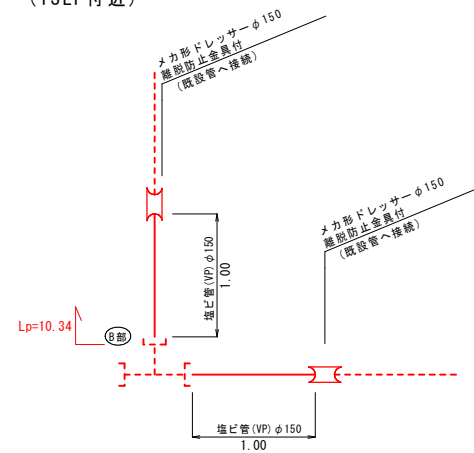
管割図(1号支線配水路)



A部詳細図  
(ISNO. 0+15.74付近)



B部詳細図  
(ISEP付近)



※ Lpとは一体化長さである

(注) : 曲げ異形管の上下流は定尺管(ゴム輪受口: 5m、直管: 4m)を用いることを基本とし、これに寄りがたい場合は、最低でも一体化長より長い管長を確保すること。

分岐部及び末端部等の必要一体化長が既設管範囲まで及ぶ場合、試掘を行い既設管に離脱防止金具が設置されていることを確認すること。  
なお、給水分岐工部については、既存資料より既設管は全て一体化されているため、確認は不要である。

事業名	特定農業用管水路等特別対策事業		
工事名	久米ヶ原3期地区特定管(1号幹線配水路3区)工事		
施工年度	令和6年度	施工位置	倉吉市服部
図面の名称	1号支線配水路管割図		
縮尺	—	図面番号	13